



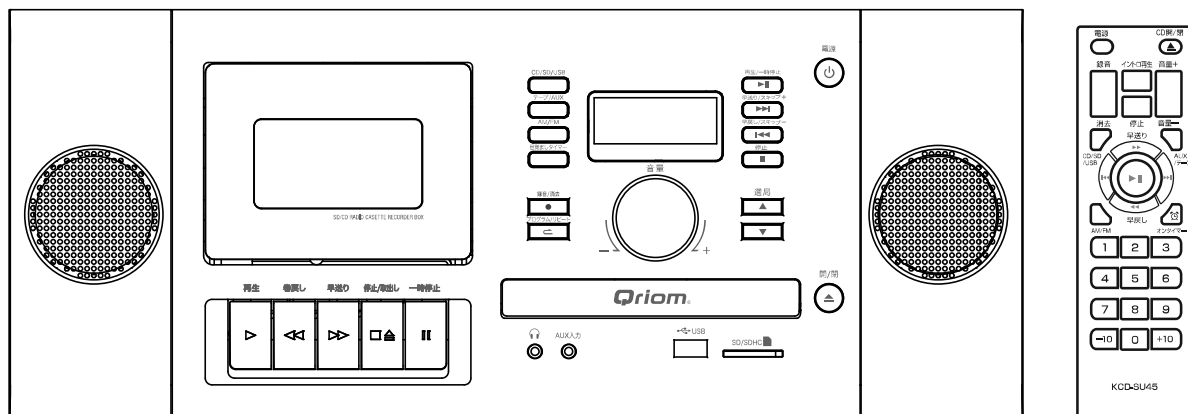
SD/CDラジカセレコーダーボックス

KCD-SU45

取扱説明書 (保証書付)

ご使用になる前に

この取扱説明書 (保証書付)
を最後までお読みのうえ、
正しくお使いください。



商品に関するお問い合わせ

キュリオムサポートセンター



0570-00-9106

受付時間:

月～金 午前10時～午後5時30分

(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

※ナビダイヤルは一部の電話では
ご利用になれない場合がございます。

メールでのお問い合わせ:

E-mail : support@qriom.com

ホームページ:

この度は、SD/CDラジカセレコーダーボックスをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、機能を十分にいかして正しくご愛用下さい。お読みになった後は大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにお役立て下さい。

目次

1. 安全上のご注意

安全上のご注意 3

2. はじめに

各部の名称 7
 付属品 9
 リモコンの使い方 10
 ヘッドホン（別売・市販品）などで聴くには 11
 外部スピーカー（別売・市販品）の接続 11
 ラジオアンテナの設置 12
 電源の入れ方・切り方 13
 音量を調節するには 13

3. 現在の時刻を合わせる

現在の時刻を合わせる 14

4. ラジオを聴く

ラジオを聴く 15

5. CDを聴く

音楽CDを聴く 16
 MP3のCD（CD-R/RW）を聴く 17
 フォルダを選択する 18
 その他の機能 19
 プログラム再生 19
 リピート再生 20
 イントロ再生 20

6. USBメモリー／SDカードを聴く

USBメモリー／SDカードを聴く 21
 プログラム、リピート、イントロ再生 22
 USBメモリーのお取り扱いについて 23
 SDカードのお取り扱いについて 23

7. カセットテープを聴く

カセットテープを聴く 25

8. AUX入力端子に色々な機器を接続して聴く

AUX入力端子に色々な機器を接続して聴く 26

9. 目覚ましタイマー再生の設定（オンタイマー）

目覚ましタイマー再生の設定（オンタイマー）
 27

10. 録音する



音楽CDからUSBメモリー／SDカードに録音する
 28
 アルバムを全曲録音する 28
 アルバムの中の1曲だけ録音する 29
 アルバムの曲をプログラムして録音する 29
 MP3のCD（CD-R/RW）から
 USBメモリー／SDカードにコピーする 30
 MP3のCDから全曲コピーする 30
 MP3のCDから1曲コピーする 30
 MP3のCDからプログラムしてコピーする
 30
 USBメモリー⇒SDカード、
 SDカード⇒USBメモリーへコピーする
 30
 カセットテープからUSBメモリー／SDカード
 に録音する 31
 AUX入力端子からUSBメモリー／SDカードに
 録音する 32
 ラジオからUSBメモリー／SDカードに
 録音する 34
 USBメモリー／SDカードから音楽ファイルを
 消去する 35

11. その他



録音した曲が見つからず再生に困ったときは・・
 36
 データの取り扱いに関する注意 36
 著作権について 36
 故障かな・・？と思ったら 37
 エラーメッセージ一覧表 38
 本機の状態を表すメッセージ一覧表 38
 製品仕様 39
 免責事項 40
 付属品等のオプション販売のご案内 40
 お手入れの仕方 41
 アフターサービス 41
 個人情報保護のお取り扱いについて 41
 保証書

安全上のご注意

※ ご使用の前に、「安全上のご注意」と「取扱説明書」の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 ※ ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵の表示の例

-  ①記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
-  ②記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

 警告	
 修理技術者以外の人は、分解、修理、改造をしない。 ●火災・感電・けがの原因となります。	 水につけたり、水をかけたりしない。 ●ショート・感電の恐れがあります。
 自動車内での使用はしない。また自動車内に放置しない。 ●本体の変形・故障の原因となります。	 開口部やすき間から異物を入れない。 ●火災・感電の恐れがあります。
 不安定な場所や傾いたところでは使用しない。 ●落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。	 雷が鳴り出したら本体に触れない。 ●感電やけがの恐れがあります。
 本製品から煙が出たり、異臭、異音などの異常を感じたりしたら、すぐに使用を中止してください。 ●そのまま継続して使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。	 本製品の放熱をさまたげない場所に設置してください。 ●他の機器、壁等から間隔をとって設置してください。ラックなどに入れる場合はすき間を空け、通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因になります。
 電源コードを傷つけないでください。 ●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。電源コードや電源プラグが傷んだ状態（芯線の露出、断線、変形など）で使用すると、火災・感電の原因になります。	 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。 ●差し込みが不完全だと、発熱したりほこりが付着して火災の原因になります。電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントは使用しないでください。
 表示された電源・電圧（交流100ボルト）以外で使用しないでください。 ●表示された電源・電圧以外で使用すると、火災・感電の原因になります。本製品を使用できるのは日本国内のみです。	 電源プラグの清掃を定期的に行ってください。 ●電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因になります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。
 電源プラグは抜きやすい位置にあるコンセントに差し込んでください。 ●万一の場合に備えて、電源プラグはよく見えて容易に引き抜ける位置にあるコンセントに接続してください。	 電源コードの上に重い物を載せたり、本製品の下敷きにしたりしないでください。 ●コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。
 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電・故障の原因となります。	

警告

<p>! 他の機器に電波障害などの影響が発生したときは、使用を中止してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ラジオやテレビの近くで使用するとノイズを与えることがあります。また近くにモーターなどの装置があると、誤作動による事故の原因になります。 	<p>⊘ 本書で指定している以外の電池を使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災やけがの原因になることがあります。
--	---















注意

<p>⊘ 高温、多湿、ほこりの多い場所に置かないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●窓際や車中など直射日光のあたる場所、ストーブのような暖房器具の近くなど高温になる場所、調理台や加湿器の近くなど油煙や湿気のある場所、またほこりの多い場所に放置すると火災・感電の原因になることがあります。 	<p>! 本機を設置するときは、設置場所にご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●設置する場所（床面やローボード等の天板）によっては、設置面の材質によりへこみや変色が発生する場合がございますのでご注意ください。
<p>! 機器に接続するときは、機器の音量設定を最小にしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。 	<p>! 梱包袋は安全な場所に保管してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●製品を梱包していた袋は、お子様の手の届かない安全な場所に保管してください。窒息などの事故の原因になることがあります。
<p>⏻ お手入れをするとき、長時間使用しないときは、電源をはずしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安全のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。電池を取り付けている場合は電池を抜いてください。 	<p>⏻ 移動させるときは、電源プラグや接続したコードをはずしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。また、接続機器が落下したり転倒したりして、けがの原因になることがあります。
<p>⊘ 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。 	<p>! ブラウン管を使用したディスプレイから離して設置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーの磁気により色むらが発生することがあります。
<p>⊘ 音が歪んだ状態で長時間使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。 	

電池に関するご注意

<p>! 必ず+(プラス)と-(マイナス)を正しく挿入してください。</p>	<p>! 爆発及び破損の恐れがあるので、電池を分解したり熱を加えたりショートさせないでください。</p>
<p>! 長時間使用しないときは、電池を抜いて保管してください。抜かない場合、液漏れの原因となります。</p>	<p>! 電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。</p>
<p>⊘ 水や海水につけたり、端子部を濡らさないでください。</p>	<p>⊘ 指定された種類の電池を使用してください。</p>
<p>! 万一、液が体についたときは傷害を起こす可能性があります。すぐにきれいな水で洗い流してください。また、液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い応急処置をした後、ただちに医師の治療を受けてください。</p>	<p>⊘ 直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所での使用・放置しないでください。液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・火傷・けがの原因になります。</p>

1. 安全上のご注意

 <p>電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護してください。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯・保管しないでください。発熱や感電・火災の原因になります。</p>	 <p>+ (プラス) と - (マイナス) 端子を接続しないでください。発熱や感電・火災の原因になります。</p>
 <p>直接半田付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。</p>	 <p>外装シール（絶縁被覆）の破れた電池を使わないでください。</p>
 <p>電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。</p>	 <p>使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示にしたがって廃棄してください。</p>
 <p>万一、使用中に異常な音がある、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、①けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。②お買い上げ店またはキュリオムサポートセンターへお問い合わせください。放置すると火災や火傷の原因になります。</p>	 <p>ニッケル水素充電電池（エネルーブ等）、リチウム充電電池を本製品で充電することはできません。</p>
 <p>液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合、使用を中止してください。</p>	 <p>火気のある場所に電池を置かないでください。</p>
 <p>充電した電池と放電した電池と一緒に混ぜて使用しないでください。</p>	 <p>容量、種類、銘柄の異なる電池と一緒に混ぜて使用しないでください。</p>
 <p>充電電池は、同時に充電した充電電池をご使用ください。</p>	 <p>電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。</p>

使用できる電池について

本製品に付属のリモコンでご使用になれる電池は以下の電池です。この電池以外をご使用にならないよう十分にご注意ください。

- 単4形アルカリ乾電池
（推奨：パナソニック、東芝、日立マクセル、SONY等の日本メーカーが生産している電池）
- ニッケル水素充電電池（推奨：パナソニック エネルーブ）

<ご注意>



- 日本のメーカー以外のアルカリ電池やニッケル水素充電電池は本製品の性能を十分に発揮できない場合がありますのでご了承ください。
- オキシライド乾電池はご使用できませんので、ご注意ください。


ノイズについて

■ 本機をご使用中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話、パソコンなどに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。

CDについて

CDについて

- ディスクに   のマークがあるものがご使用できます。

- ディスクに  のマークがあるコピーコントロールCDにつきましては、コンパクトディスク規格に準拠されない特殊なディスクであり、本機での正常な動作、再生、または音質等の保証は致しかねます。音楽ディスクのパッケージをよく確認してください。また、コピーコントロールCDをUSBメモリー及びSDカードへ録音することはできませんのでご注意ください。なおコピーコントロールCDの詳細につきましては、ディスクの発売元、または販売元へお問い合わせくださいますようお願いいたします。

CD-R、CD-RWの再生について

- CD-R、CD-RWのメーカー、容量、書き込みソフトウェアの種類、状態によって、再生の不具合や音飛び、雑音がまじるなどの可能性があります。
- ファイナライズ処理を行っていない場合、再生できません。

DualDiscについて

- DualDiscは音楽と映像用のディスクを組み合わせた両面ディスクで、コンパクトディスク規格に準拠しておりません。このため、本機での正常な動作、再生、音質等の保証は致しかねます。

ディスクの形状、使用について

- ひびや変形しているもの、またテープなどで補修したCDを使用しないでください。故障やけがの原因となります。
- 円形以外の特殊な形状をしたCDを使用しないでください。故障の原因となります。
- 脱着時にCDの再生面に触れないようにしてください。
- CD本体に紙やテープなどを貼らないでください。故障の原因となります。
- ディスクに汚れ等が付いた場合、柔らかい布でCDの中心から外へ向けて放射状に軽くふき取ってください。
- 長時間使わない場合、CDをプレーヤーから取り出してケースに保管してください。またCDを取り出した後はCDドアを閉めてください。

結露について

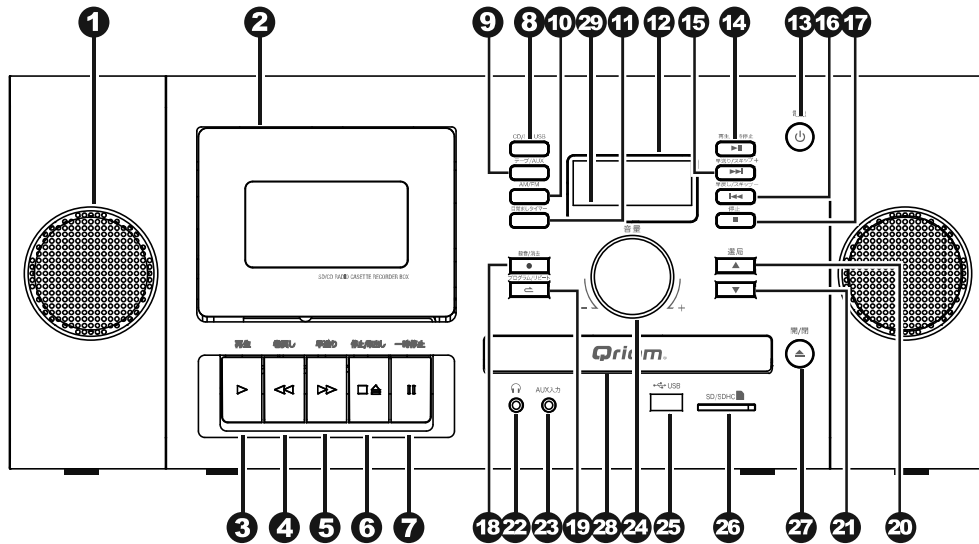
- 寒暖差の激しいところへ移動すると、読み込みレンズに水滴やくもりがつく結露現象が発生し、CDの読み込みが一時的にできなくなる可能性があります。その場合は一度CDを取り出していただき、数時間後に再度お試しください。

カセットテープについて

- カセットを開けたり、テープを無理に引き出したりしないでください。
- テープを指で触れたり、ほこりやごみの多いところで保管すると再生不良を起こしますのでおやめください。
- 磁気の強いものの近くに置かないでください。
- カセットの形が変形しているもの、テープに歪みが出ているもの、早送り、巻き戻し時に変な音が発生するものは正常に使えない可能性がありますのでご了承ください。
- 90分以上の長時間用テープ（テープが薄く伸びやすいもの）は絡まったり巻き込まれたりしやすいのでご使用はおやめください。
- 本機で再生中にテープが破損した場合、保証はできませんのでご了承ください。

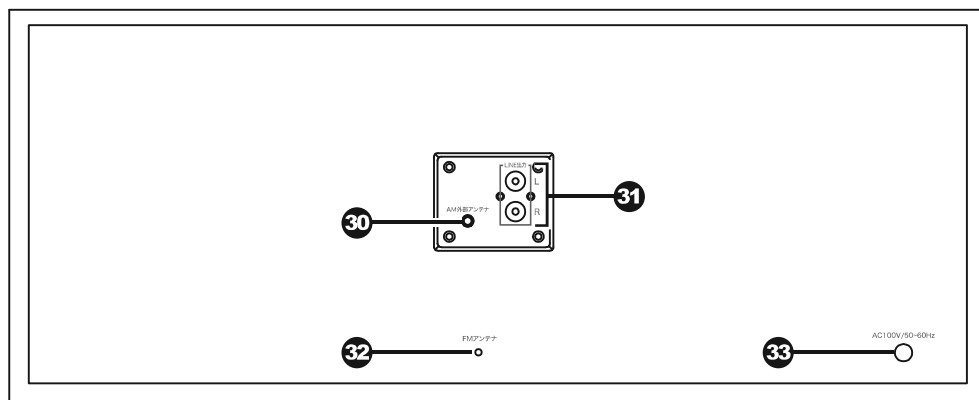
各部の名称

本体正面



- | | | |
|-----------------|------------------|-------------|
| ① スピーカー | ⑪ 目覚ましタイマーボタン | ⑳ 選局+ボタン |
| ② カセット挿入口 | ⑫ ディスプレイ | ㉑ 選局-ボタン |
| ③ カセット再生ボタン | ⑬ 電源ボタン | ㉒ ヘッドホン端子 |
| ④ カセット巻戻しボタン | ⑭ 再生/一時停止ボタン | ㉓ AUX入力端子 |
| ⑤ カセット早送りボタン | ⑮ 早送り/スキップ+ボタン | ㉔ 音量ツマミ |
| ⑥ カセット停止/取出しボタン | ⑯ 早戻し/スキップ-ボタン | ㉕ USB入力端子 |
| ⑦ カセット一時停止ボタン | ⑰ 停止ボタン | ㉖ SDカードスロット |
| ⑧ CD/SD/USBボタン | ⑱ 録音/消去ボタン | ㉗ CD開閉ボタン |
| ⑨ テープ/AUXボタン | ㉒ リpeat/プログラムボタン | ㉘ CDドア |
| ⑩ AM/FM切替ボタン | | ㉙ リモコン受光部 |

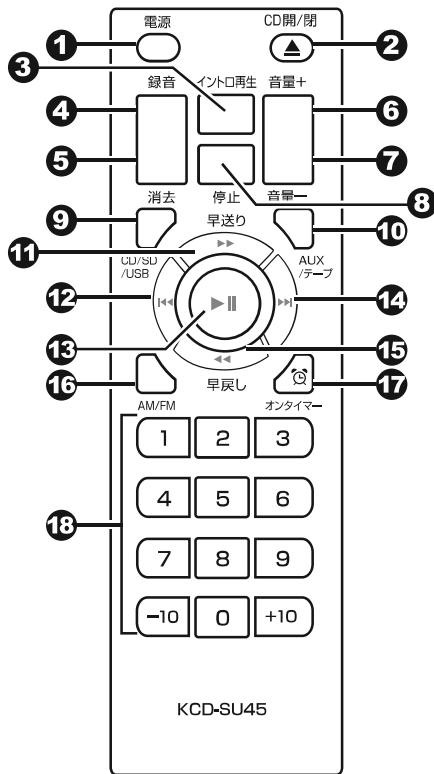
本体背面



- | | | |
|---------------|-------------|-----------|
| ③① AM外部アンテナ端子 | ③② LINE出力端子 | ③③ FMアンテナ |
| ③③ 電源コード | | |

各部の名称

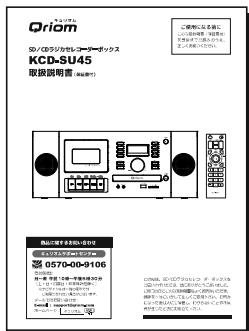
リモコン



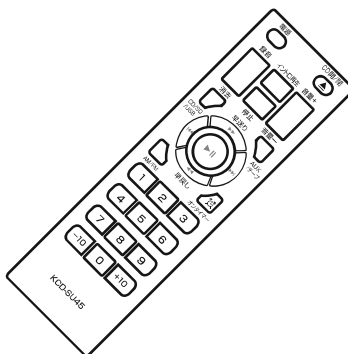
- ① 電源ボタン
- ② CD開閉ボタン
- ③ インポート再生ボタン
- ④ 録音ボタン
- ⑤ 消去ボタン
- ⑥ 音量+ボタン
- ⑦ 音量-ボタン
- ⑧ 停止ボタン
- ⑨ CD/SD/USBボタン
- ⑩ AUX/テープボタン
- ⑪ 早送りボタン
- ⑫ スキップ-ボタン
- ⑬ 再生/一時停止ボタン
- ⑭ スキップ+ボタン
- ⑮ 早戻しボタン
- ⑯ AM/FM切替ボタン
- ⑰ オンタイマーボタン
- ⑱ 10キーボタン

付属品

下記の通り、付属品が同梱されていることを確認してください。



取扱説明書

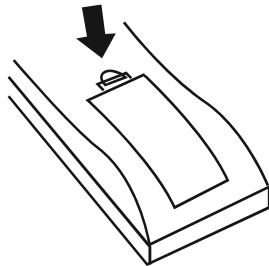


リモコン

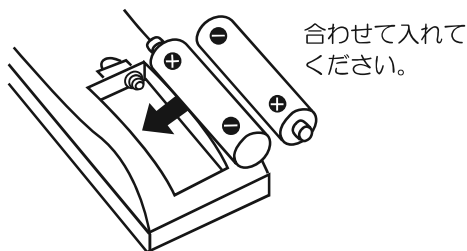
リモコンの使い方

本体の電源を入れた後で、CDの再生/一時停止/スキップ/プログラム/リピート/停止等をリモコンを使用して、操作することができます。（単4形乾電池は別売です。市販品をお求めください。）

- 1** 電池カバーの爪部分を押し下げながら、手前に引っ張ってカバーを外してください。

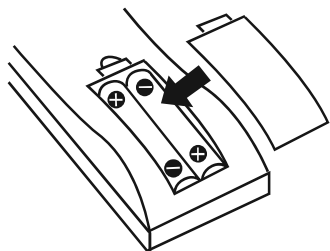


- 2** 単4形乾電池2個（別売）を電池ケースに入れます。その際は電池ケースに図示された極性に合わせてください。



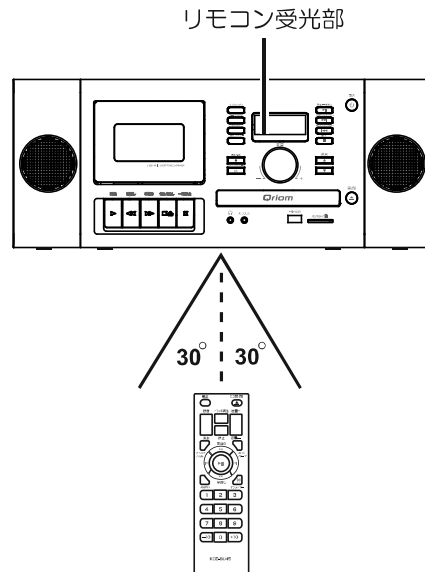
プラス⊕ マイナス⊖ を確認して間違えないように入れて下さい。

- 3** 電池ケースの下にあるくぼみにカバー下のでっぱりを合わせてから、カバーをはめ込んでください。



付属のリモコンが破損や紛失した場合は専用品をお取り寄せとなりますので、各販売店にお問い合わせください。市販品はご使用になれませんのでご了承ください。詳しくはP40「付属品等のオプション販売のご案内」を参照してください。

リモコンは左右30度の角度で水平にして、約6メートル以内で使用してください。

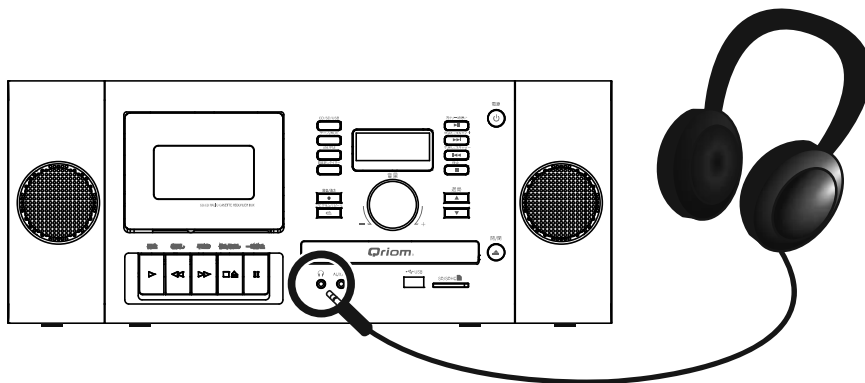


△ 注意

リモコンを1か月以上使用しない場合は、必ず電池を取り出しておいてください。電池を入れたままにしておくと、液漏れによりリモコンが損傷する原因となります。電池の液漏れによるリモコンの故障は保証期間中の場合でも有償修理となりますのでご注意ください。

ヘッドホン（別売・市販品）などで聴くには

本体正面のヘッドホン端子に差し込みます。



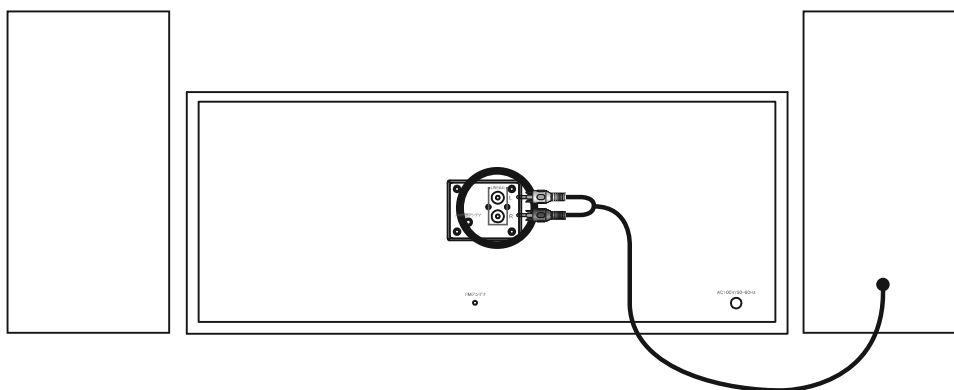
※ 端子がミニプラグ（3.5mm）のヘッドホン又はイヤホン（別売・市販品）をお買い求めください。電気店等でお求めいただけます。

＜参考＞ ヘッドホン端子にヘッドホン（又はイヤホン）を差し込みますと、スピーカーからは音は出ません。

外部スピーカー（別売・市販品）の接続

本機は背面のLINE出力端子にアンプ内蔵型スピーカー（別売・市販品）を接続することができます。

1 スピーカーを本体の両側に設置します。



2 アンプ内蔵型スピーカー（別売・市販品）のRCAケーブルを本機の背面にあるLINE出力端子に接続します。（上図のように取り付けます。）

※詳しくは外部スピーカー（別売・市販品）の取扱説明書をご参照ください。

LINE出力の音量調節は本機の音量ツマミではできません。外部スピーカーの音量ツマミ等で音量を調節してください。

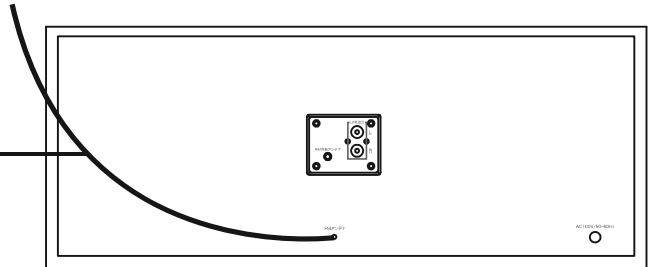
本機にイヤホンを接続しても外部スピーカーから音が出ますのでご注意ください。

ラジオアンテナの設置

FMラジオの場合

本体背面に付属しているFMアンテナコードを
いっぱい伸ばして、よく聞こえる方向に向け
てお聴きください。

FMアンテナコード



AMラジオの場合

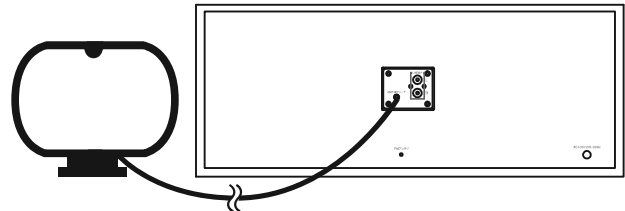
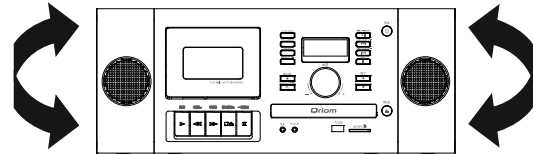
AMラジオのアンテナは本体に内蔵されていますので、
本体の位置を動かして、よく聞こえる位置に設置してく
ださい。

パソコンやテレビ等の電化製品の近くでは受信状態が非
常に悪くなりますので、できるだけ離してご使用くださ
い。

また、AM外部アンテナ（別売）をご使用できます。
専用品をお取り寄せとなりますので、各販売店にお問い
合わせください。市販品はご使用になれませんのでご了
承ください。

接続する場合は、本体背面にあるAM外部アンテナ端子
に接続してください。

※P40「付属品等のオプション販売のご案内」を参照。



AM外部アンテナ（別売）
（AMループアンテナ）

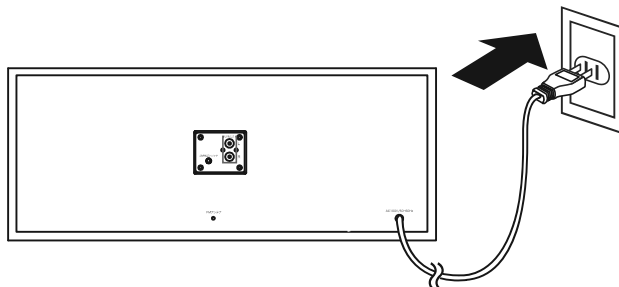
<ヒント>

別売オプション品のAMループアンテナは本体の設置
場所を変更せずにアンテナの位置だけを変更するこ
とができるので、受信状態が良い場所を探すのに便利で
す。

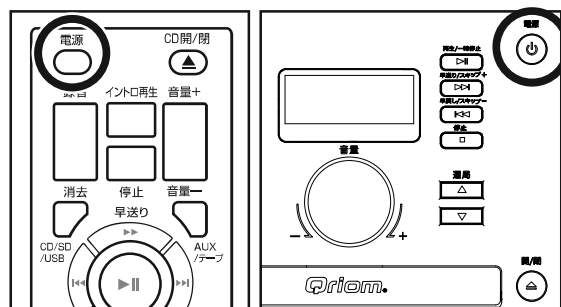
電源の入れ方・切り方

電源の入れ方

- 1 ACプラグをご家庭のコンセントに差し込みます。



- 2 本体又はリモコンの電源ボタンを押すと、電源が入ります。
電源が入ると液晶画面のバックライトがオレンジ色に点灯します。



電源の切り方

- 1 本体又はリモコンの電源ボタンを押すと、電源が切れます。
- 2 ACプラグをコンセントから抜きます。

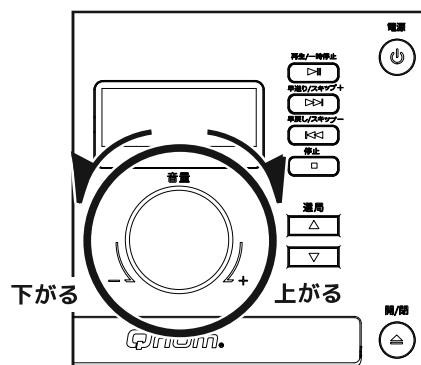
△注意

ACプラグをコンセントから抜く時は、コードを引っ張らずに必ずACプラグを持って引き抜いてください。

音量を調節するには

音量つまみを右に回すと、音量が上がります。
音量つまみを左に回すと、音量が下がります。

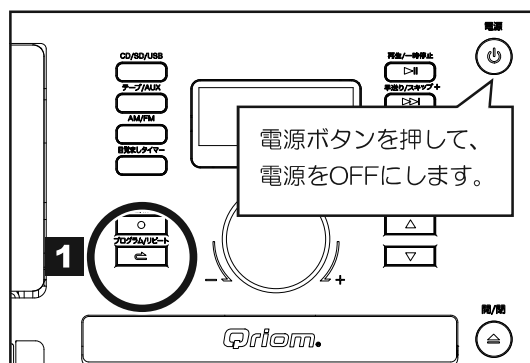
※音量つまみを回すとディスプレイに
音量表示が0～30の範囲で表示されます。



現在の時刻を合わせる

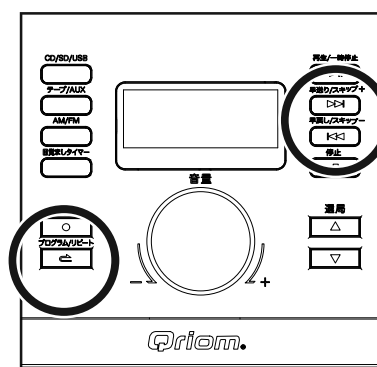
- 1** 電源オフの状態プログラムボタンを長押しすると時刻設定画面に移ります。

時刻は24時間表示のみとなりますのでご注意ください。



- 2** 最初に早送り/スキップ+, 早戻し/スキップ-で”時”を合わせます。再度、プログラムボタンを押して、同様に分を合わせます。最後に再生/一時停止ボタンを押すと画面表示が消えて時刻が決定し、時計が動きます。

※リモコンでは時刻設定ができませんのでご注意ください。



ラジオを聴く

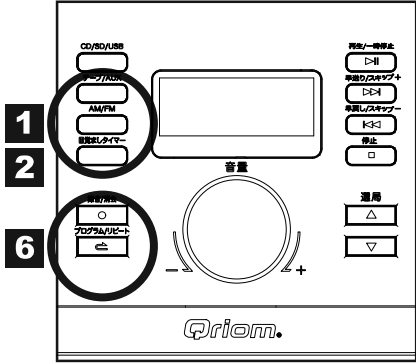
ディスプレイ表示



※ 画面の表示は一例です。
本機の設定状況により、表示が異なりますのでご注意ください。
本ページ以降の画面の表示についても同様となりますのでご注意ください。

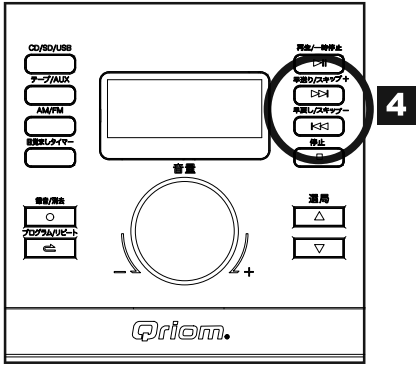
※ラジオモードの時、中央は周波数を表示します。

- 1** AM/FM切替ボタンを押してラジオモードにします。
- 2** AM/FM切替ボタンでAMかFMを選択します。
- 3** P12を参照してAMまたはFMのアンテナを調整します。
- 4** 早送り/スキップ+、早戻し/スキップ-ボタンを操作して、お好みの放送局の周波数に合わせます。早送り/スキップ+、早戻し/スキップ-ボタンを長押しした場合は受信した放送局をキャッチしたところで停止します。短押しした場合はボタンを押す度にFMは0.1MHzずつ、AMは9KHz ずつ移動します。



- 5** 雑音が多い場合、**3**、**4**を繰り返し調整します。

- 6** お好みのラジオ周波数を登録する場合は、登録したい周波数に合わせてからリピート/プログラムボタンを短押しします。ディスプレイにP***(**は1~20までの数字)が点滅するので選局+、選局-ボタンを押して登録したい番号に合わせます。(もしも既に放送局が登録されていた場合は上書きされますのでご注意ください。)再度、プログラム/リピートボタンを押して決定します。登録した次からは選局+、選局-ボタンで登録した周波数を選択できるようになります。周波数は20件(P01~P20)まで登録ができます。



<ヒント>
再生/一時停止ボタンを長押しすると、自動で周波数の登録が可能です。自動登録した後で、再度、再生/一時停止ボタンを長押しすると、いままで登録した局は全て削除され、新しく自動に登録されますので、操作する際は十分に注意して行ってください。(電波状態が悪い場合は登録されませんのでご注意ください。)

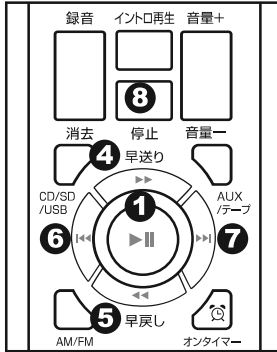
ワイドFMについて

ワイドFM (FM補完放送) とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のためにFM放送用に新しく割り当てられた90.1~94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。
本機はワイドFMに対応しており、主な仕様ではFM周波数帯域が76~95MHzまであります。
ワイドFMの開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域によって異なりますので、詳しくは各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

音楽CDを聴く

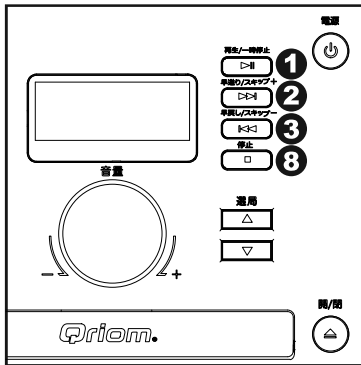
基本操作

<リモコン>



1 再生／一時停止ボタン	短押し・・・CDを再生します。 CDの再生を一時停止します。 再び再生を開始します。
2 早送り／ スキップ+ボタン	短押し・・・次のトラックへ移動します。 長押し・・・早送りします。
3 早戻し／ スキップ-ボタン	短押し・・・前のトラックへ移動します。 長押し・・・早戻しします。
4 早送りボタン	長押し・・・早送りします。
5 早戻しボタン	長押し・・・早戻しします。
6 スキップ-ボタン	短押し・・・前のトラックへ移動します。
7 スキップ+ボタン	短押し・・・次のトラックへ移動します。
8 停止ボタン	短押し・・・CDの再生を停止します。

<本体>



ディスプレイ表示

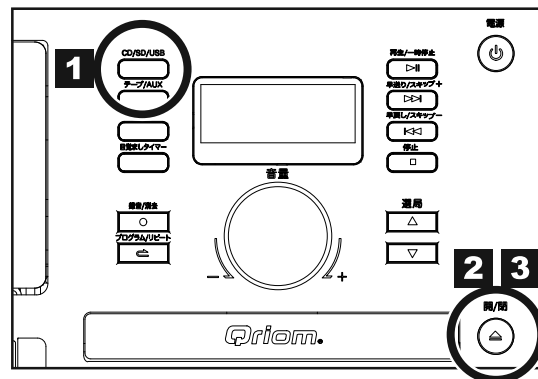
再生中は再生ランプが点灯します。
一時停止状態ではトラック経過時間が点滅します。CDモードの時、
停止中は総トラックを表示し、再生／一時停止中はトラック経過時間
を表示します。再生／一時停止ボタンを長押しするとフォルダーナン
バー、トラックナンバーの順に表示して、再度、トラック経過時間
を表示します。



※上記はトラックナンバーの表示例です。
F* * フォルダ－ナンバー
* * * トラックナンバー
* * : * * トラック経過時間
*部分には数字が表示されます。

音楽CDを聴く

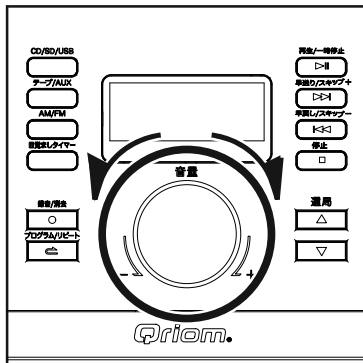
- 1** CD/SD/USBボタンを押してCDに合わせます。
- 2** CD開閉スイッチを押しCDドアを開けて、ディスクをラベルのついた面を上にして、CDトレイの上に置きます。シングルCDを聴く場合は、CDトレイの内側の溝に合わせて置きます。
- 3** CD開閉スイッチを再度押し、CDドアを閉じます。



5. CDを聴く

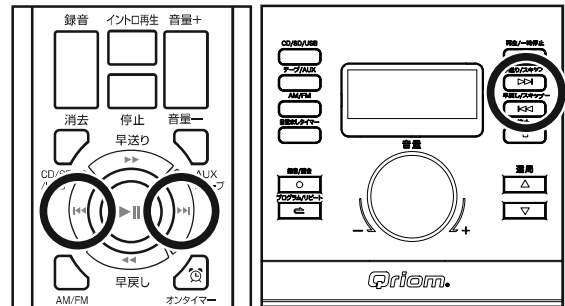
4 トラック番号1から再生が始まります。

5 音量つまみを回して、好みの音量に調節します。

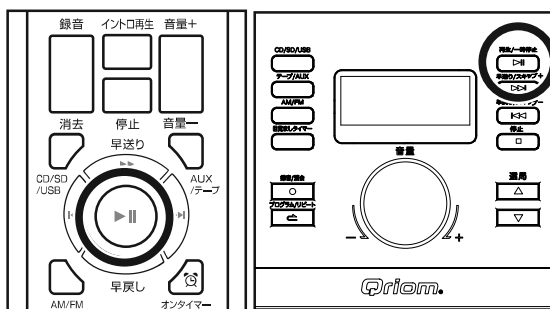


7 次のトラックへ移動する場合は、早送り/スキップ+ボタン、リモコンの場合はスキップ+ボタンを短く押します。

前のトラックへ移動する場合は、早戻し/スキップ-ボタン、リモコンの場合はスキップ-ボタンを短く押します。

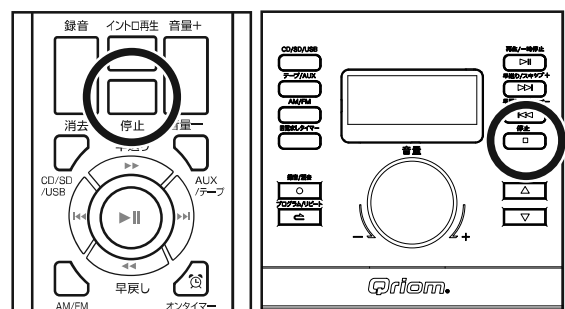


6 再生を一時停止する場合は、再生/一時停止ボタンを押します。



※リモコンの10キーボタンを使用すると、再生しているCDのお好きなトラックを呼び出すことができます。例えば3番目の曲を再生したい時は、0⇒3とボタンを押すと、約5秒後に3曲目に移動します。また、リモコン下部の-10、+10ボタンを押すと、現在の再生トラックから-10、+10されたトラックに移動します。10以上移動できない場合に-10、+10ボタンを押すと、最初のトラックか最後のトラックに移動します。

8 再生を停止する場合は、停止ボタンを押します。



MP3のCD (CD-R/RW) を聴く

基本操作は前項の音楽CDを参照してください。

△ CD-R/RWは記録状態によっては再生できない場合があります。

例) ファイナライズされていない状態

<MP3について>

- MP3形式のファイルで拡張子が「.mp3」または「.MP3」が付加されているファイルを再生できます。
- サンプリング周波数32kHz、44.1kHz、48kHz、ビットレート32kbps～320kbps (VBR対応) のMP3が再生可能です。
- DRM付MP3は再生できません。MP3形式のファイルを作る際は、著作権保護機能を外して作成してください。

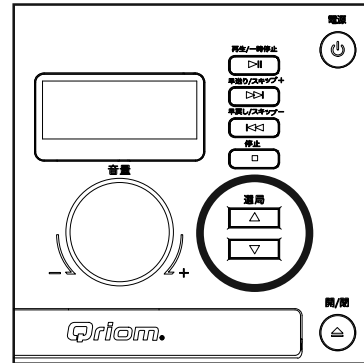
フォルダを選択する

パソコンでフォルダを作成した場合、聴きたい曲が入っているフォルダを選択して聴くことができる便利な機能です。

※フォルダの選択は、ディスクにフォルダが2つ以上ある場合のみ可能です。

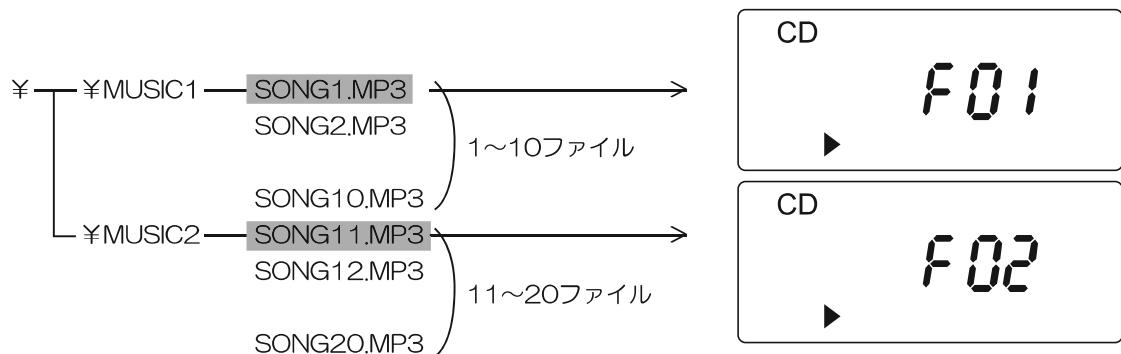
※フォルダ名は表示されません。

再生中又は停止中に、本体の選局ボタンを押して、フォルダを選択します。



<参考>

例えば、下記のようにMP3ファイルを入れたフォルダがある場合、選局ボタンを押すと下図のようにフォルダーナンバーを自動的に割り当てて表示します。フォルダーナンバーはSD/USBメモリーへ録音された順に割り当てられます。



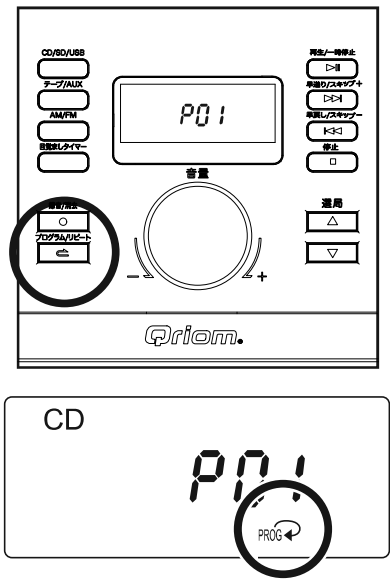
その他の機能

※音楽CD、＜MP3＞CD共通の機能です。

プログラム再生

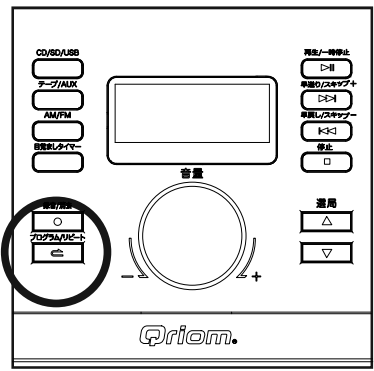
最大99曲までのトラックを好みの順番でプログラム再生することができます。

1 停止状態でプログラム/リピートボタンを押すと、ディスプレイにPO1と点灯して表示されます。



プログラム設定中、再生中はプログラムランプが点灯します。

3 プログラム/リピートボタンをもう一度押すと、選択した曲がプログラム再生に登録されます。

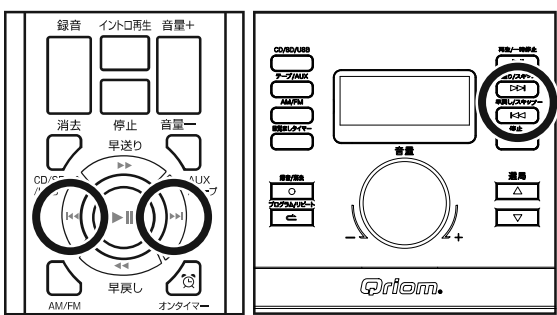


4 2～4を繰り返して、1～最大99のプログラム再生に選択したトラックを追加します。

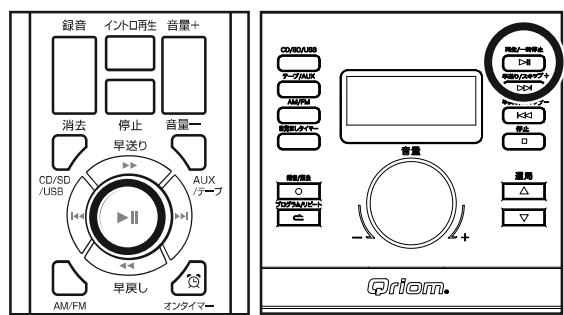
※ 99曲をプログラム再生に登録した後にプログラム/リピートボタンを押すと、画面にFULLと表示されて登録ができませんのでご注意ください。

※ プログラム再生の編集はできません。

2 早送り/スキップ+ボタン又は早戻し/スキップ-ボタン、リモコンの場合はスキップ+ボタン又はスキップ-ボタンを押して、好みのトラックを選択します。



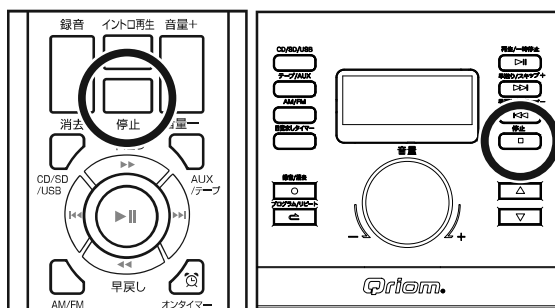
5 プログラムの設定が終わったら、再生/一時停止ボタンを押します。プログラムした順番にディスクが再生されます。



5. CDを聴く

- 6** プログラム再生を終了する場合は、停止ボタンを再生中は2回、停止している時は1回押します。

※他のモードへ移動、または電源を切った場合でも同様にプログラム再生は終了します。



プログラムのメモリー及びプログラム再生中のイントロ再生はできませんのでご注意ください。

リピート再生

CDやMP3ディスクを再生中もしくは再生前にプログラム/リピートボタンを押すと、以下のように再生が切り替わります。

一度リピートボタンを押すと、現在表示されている曲がリピート再生されます。(一曲リピート)

もう一度押すと、全曲が繰り返し再生されます。(全曲リピート)

3回目を押すとイントロ再生となります。(以下のイントロ再生を参照してください。)

4回目を押すとリピートモードが解除されます。

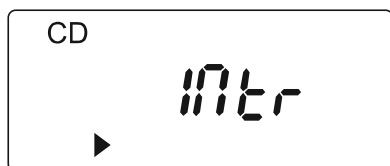


イントロ再生

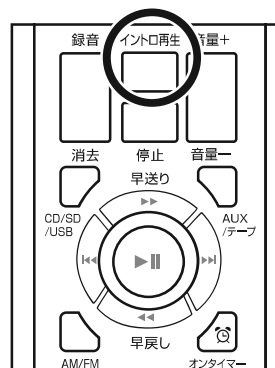
リモコンのイントロ再生ボタンまたは本体のプログラム/リピートボタンを3回押すと各曲の最初の10秒が再生され次の曲に切り替わります。

プログラム再生中、リピート再生中にイントロ再生は機能しませんのでご注意ください。

イントロ再生中に停止ボタンを押すと解除されます。



イントロ再生中は画面に「Intr」と表示されます。



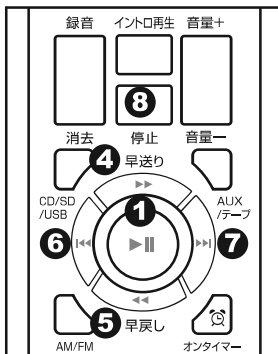
USBメモリー／SDカードを聴く

本機は、本機やパソコン等でUSBメモリーやMP3プレーヤー（フラッシュメモリータイプ）又はSDカードやSDアダプターを使用したマイクロSDに記録したMP3音楽ファイルを再生し、聴くことができます。

※ 本機で再生することができるメモリーのその他注意事項に関してはP23、24を参照してください。

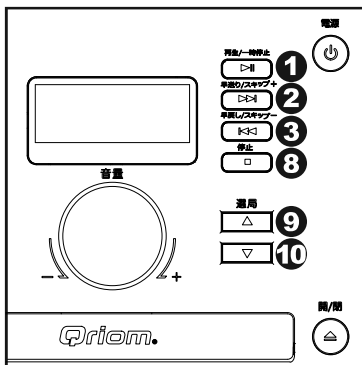
基本操作

<リモコン>



① 再生／一時停止ボタン	短押し・・・USB/SDを再生します。 USB/SDの再生を一時停止します。 再び再生を開始します。
② 早送り／スキップ+ボタン	短押し・・・次のトラックへ移動します。 長押し・・・早送りします。
③ 早戻し／スキップ-ボタン	短押し・・・前のトラックへ移動します。 長押し・・・早戻しします。
④ 早送りボタン	長押し・・・早送りします。
⑤ 早戻しボタン	長押し・・・早戻しします。
⑥ スキップ-ボタン	短押し・・・前のトラックへ移動します。
⑦ スキップ+ボタン	短押し・・・次のトラックへ移動します。
⑧ 停止ボタン	短押し・・・USB/SDの再生を停止します。
⑨ 選局ボタン▲	短押し・・・次のフォルダへ移動します。
⑩ 選局ボタン▼	短押し・・・前のフォルダへ移動します。

<本体>



ディスプレイ表示

再生中は再生ランプが点灯します。一時停止中は再生ランプが点滅します。停止中は総トラック数を表示し、再生／一時停止中はトラック経過時間を表示します。本体及びリモコンの再生／一時停止ボタンを長押しするとフォルダナンバー、トラックナンバーの順に表示して、再度、トラック経過時間を表示します。

<USBの時>



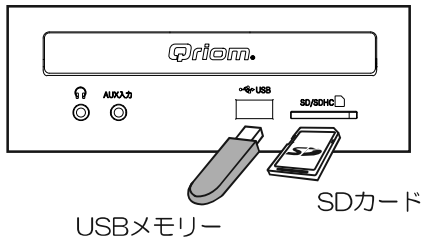
<SDの時>



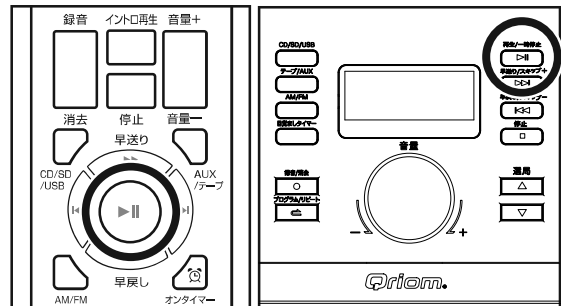
※左記はトラックナンバーの表示例です。
F** フォルダナンバー
*** トラックナンバー
**:* トラック経過時間
*部分には数字が表示されます。

6. USBメモリー/SDカードを聴く

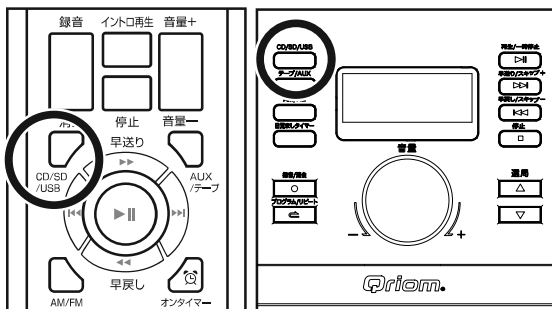
- 1** USBメモリーを本機の正面にあるUSB端子に接続します。
SDカードは本機の正面にあるSDカードスロットに差し込みます。
※SDカードの向きに注意して挿入してください。



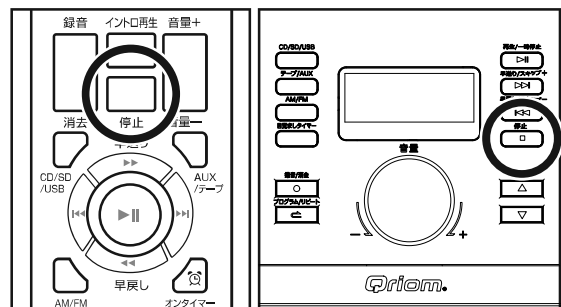
- 4** 再生を一時停止する場合は、再生/一時停止ボタンを押します。



- 2** 本体のCD/SD/USBボタン又はリモコンのSDボタン、USBボタンを押して再生したいメモリーを選択します。



- 5** 再生を停止する場合は、停止ボタンを押します。



- 3** 最初のトラックから自動的に再生します。

※スキップ+ボタン、スキップ-ボタンやリモコンの10キーボタンを使用すると、再生しているUSB、SDのお好きなトラックを呼び出すことができます。「P16 音楽CDを聴く」をご参照ください。

プログラム、リピート、イントロ再生

プログラム再生、リピート又はイントロ再生モードの再生の手順はP19~をご参照ください。

※再生の順番について
本機はトラック（ファイル）を録音（コピー）した順にファイルを再生します。

USBメモリーのお取り扱いについて

本機では、USBマストレージクラス対応のUSBメモリー又はMP3プレーヤーが使用できます。

USBメモリーの取り扱いについて

- 本機にUSBメモリーは付属しておりません。
- 再生時間は再生ファイル、使用方法により異なる場合があります。
- データ転送速度は使用環境によって異なる場合があります。
- USBメモリーのメーカーや種類によっては使用できないことがありますのであらかじめご了承ください。
- USBメモリーがフォーマットされていない場合、本機で正常に録音／再生ができないことがあります。あらかじめパソコンでフォーマットしてからご使用ください。

使用できるUSBメモリーについて

- 市販品のUSBメモリーをお買い求めください。
- USBメモリー最大128GBまで対応可能です。USBメモリーのメーカーや種類によって正常に動作しない場合や、処理速度が遅くなる場合がありますのでご了承ください。

再生について

- 本機で再生可能な形式は、MP3形式です。
- USBマストレージクラス対応品でも、再生できない場合があります。
(内蔵メモリ増設スロット (SDカードなど) を兼ね備えた機器)
(収録されている音楽ファイルの形式がMP3以外の場合)
(収録されている音楽ファイルの形式がMP3であっても、DRM付き (著作権保護されている) ファイルなど)
- iPodシリーズ (アップルコンピューター)、ウォークマン (ソニー)、D-SNAP (パナソニック) は、USB接続しても再生できません。これは各社が独自に採用しているフォーマットおよび著作権保護技術による制度です。ご了承ください。

録音について

- 本機で録音された場合は、MP3形式で保存されます。
- 録音している際には絶対にカードを取り出したり、電源を切ったりコードを抜いたりしないでください。USBメモリー及び内部の音楽データが破損する恐れがあります。
- CCDなどコピー制限情報などが埋め込まれている場合は録音できないことがあります。
- USBメモリーへの録音は記録互換上、まれに音飛びが生じる場合があります。これはUSBメモリーの特性により発生するものであり、本機の故障ではありません。お客様が記録されたUSBメモリーの記録内容に関しましては、正しく録音されていることを確認していただくことをお勧め致します。

SDカードのお取り扱いについて

SD、SDHCカード (※以下、SDカード) の取り扱いについて

ご注意

- 本機にSDカードは付属しておりません。市販品のSDカードをお買い求めください。
- サンディスク社製を推奨いたします。

- 再生時間は再生ファイル、使用方法により異なる場合があります。
- データ転送速度は使用環境によって異なる場合があります。
- SDカードのメーカーや種類によっては使用できないことがありますのであらかじめご了承ください。
- SDカードがフォーマットされていない場合、本機で正常に録音／再生ができないことがあります。
あらかじめパソコンでフォーマットしてからご使用ください。

<SDカードを本機に認識させる際のご注意>

⚠️ ご注意

本機の電源が入っている状態でSDカードを挿入すると簡単に認識します。電源を入れる前からSDカードを入れている場合は、電源を入れた時にSDカードが認識されていない可能性があります。

その際は電源が入っている状態でいったんSDカードを取り出し、再度入れると簡単に認識します。

⚠️ 使用できるSD、SDHCカードについて

本機ではSD、SDHCカードが使用できます。（別売・市販品）

※ SDカード最大2GB、SDHCカード最大32GB（CLASS10）まで対応可能です。SD、SDHCカードのメーカーや種類によって正常に動作しない場合や、処理速度が遅くなる場合がありますのでご了承ください。

※ マイクロSD、マイクロSDHCカードはSDアダプター（別売・市販品）に挿入して使用することが可能です。

再生について

- 本製品で再生可能な形式はMP3形式です。
- 収録されている音楽ファイルの形式がMP3であっても著作権が保護されているファイルの場合は再生できません。
※P39 製品仕様の再生ファイル形式を参照してください。

録音について

- 録音している際には絶対にカードを取り外したり、電源を切ったりコードを抜いたりしないでください。SDカードに入っている音楽データが破損する恐れがあります。
- SDカードへの録音は記録互換上まれに音飛びなどが生じる場合があります。これはSDカードの特性により発生するもので、本機の故障ではありません。お客様が記録された内容については、SDカードに正しく録音されているか確認していただくことをお勧めいたします。

⚠️ ご注意

- 使用後取り出された後は必ずケースに入れて保管してください。
- 分解・改造をしないでください。分解・改造を行ったカードを本機に挿入すると故障の原因となります。
- 貼られているラベルははがさないでください。
- ラベル・シールを貼らないでください。
- 金属端子部分に触らないでください。



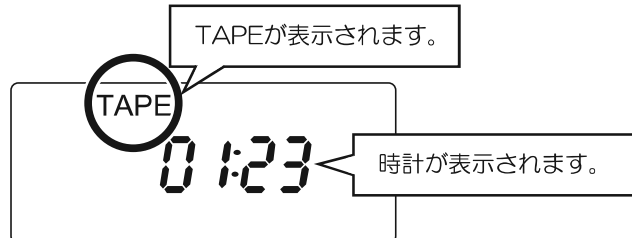
SDロゴはパナソニック(株)、SanDisk Corporation、(株)東芝の登録商標です。

本機の不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いません。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても、補償については当社では責任を負いません。あらかじめご了承ください。
本機、SDカード、USBメモリー及びパソコンの不具合により、転送やダウンロードができなかった場合、またはファイルが破損、消去された場合、ファイル内容の補償はいたしません。

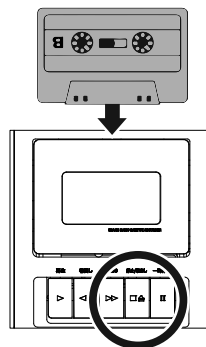
カセットテープを聴く

本機は録音されたカセットテープを再生し、聴くことができます。
 ※カセットテープに音声を録音する機能はございませんのでご注意ください。
 ※カセットテープ、AUXを選択している時はトラック番号ではなく時刻が表示されます。

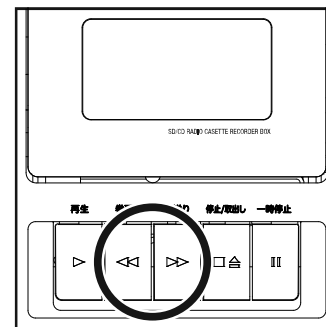
ディスプレイ表示



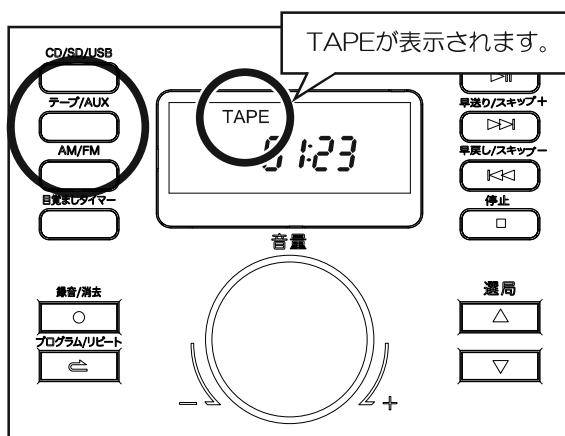
- 1 停止/取出しボタンを押して、カセット挿入口を開き、そこに再生するカセットテープをセットします。
 ※向きに注意してカチッと音がするまでカセットテープを挿入してください。



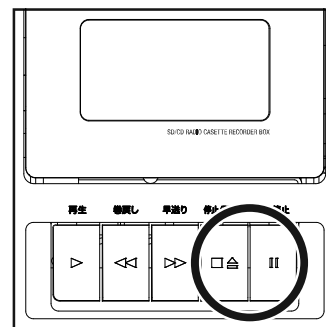
- 4 カセットテープを早送りしたい場合は早送りボタンを押し、巻き戻ししたい場合は巻き戻しボタンを押してください。通常再生に戻りたい場合は再生ボタンを押してください。



- 2 テープ/AUXボタンを押してテープモードにします。



- 5 カセットテープを取り出さずに停止するには一時停止ボタンを押してください。カセットテープを取り出して停止するには停止/取出しボタンを深く押し込んでください。

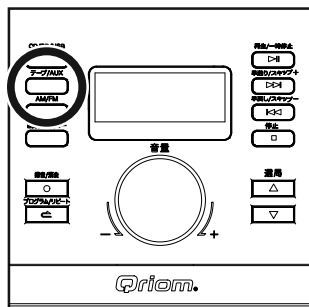


- 3 本体の左側にあるテープ用の再生ボタンを押すと、テープの再生が始まります。

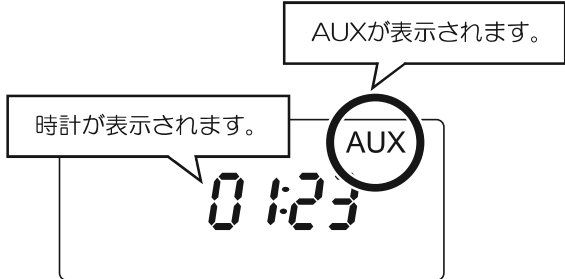
AUX入力端子に色々な機器を接続して聴く

AUX入力端子に色々な外部機器を接続して、本機のスピーカーから聴くことができます。
 ※カセットテープ、AUXを選択している時はトラック番号ではなく時刻が表示されます。

カセット/AUXボタンを押してモードを切り替えます。

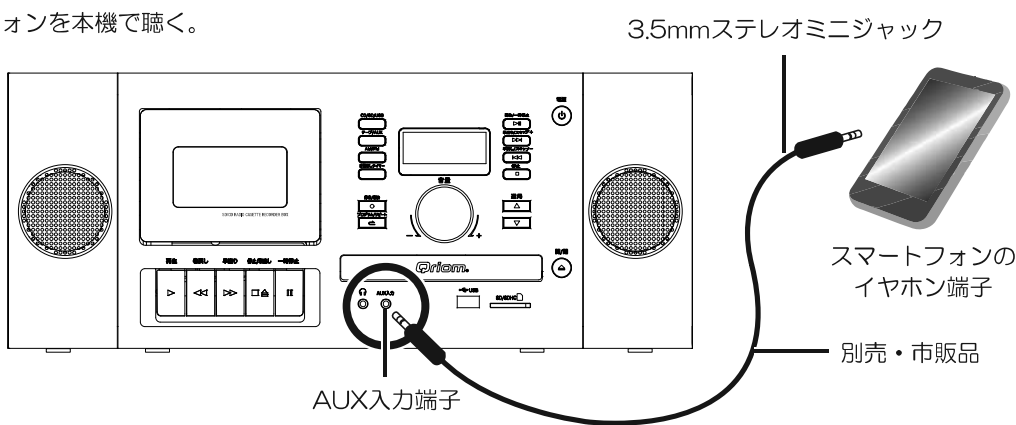


ディスプレイ表示



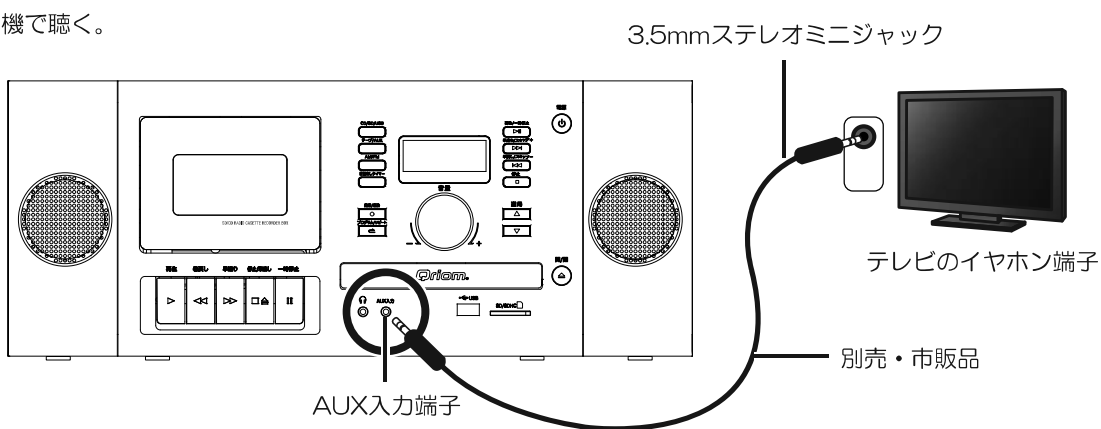
接続例1

スマートフォンを本機で聴く。



接続例2

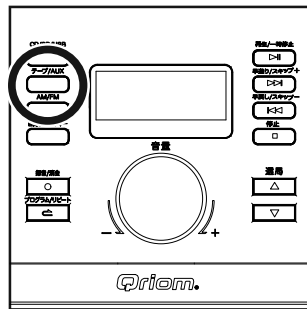
テレビを本機で聴く。



△注意
 本体の電源を入れたままAUX入力にラインケーブルを接続すると、スピーカーより大きい雑音が発生する場合があります。スピーカーを損傷する原因となりますので、電源を切った状態でラインケーブルを接続してください。

9. 目覚ましタイマー再生の設定（オンタイマー）

- 1** カセット/AUXボタンを押してモードを切り替えます。



- 2** 接続した外部の再生ボタンを押すと、本機のスピーカーから再生することができます。

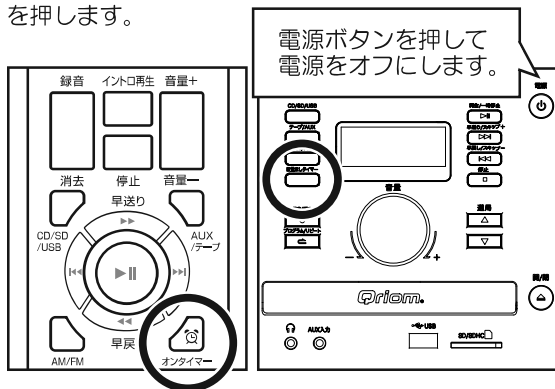
※音量が大きすぎて音割れになってしまう場合は、外部機器のボリュームを音割れしないところまで下げてください。

目覚ましタイマー再生の設定（オンタイマー）

指定時間にラジオやCD、SD、USBなどを再生できますので、目覚まし時計の代わりに使うと便利です。音量を最小にしている場合、音が出ませんのでご注意ください。

※カセットテープとAUX入力は目覚ましタイマーをセットできませんのでご注意ください。

- 1** 本体の電源がオフの状態、本体の目覚ましタイマーボタンを長押し、又はリモコンのオンタイマーボタンを押します。

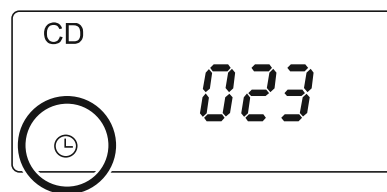
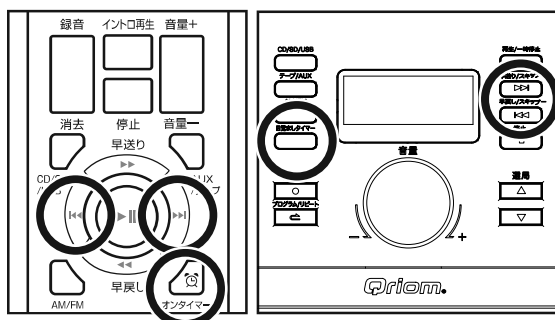


- 3** 目覚まし再生するモードを早送り/スキップ+、早戻しスキップボタンを使って選択し、本体の目覚ましタイマーボタン又はリモコンのオンタイマーボタンで決定します。AM/FMを選択した場合、最後に合わせた周波数を指定時間に再生します。

- 4** 早送り/スキップ+、早戻しスキップボタンでONを選択し、再生/一時停止ボタンを押して設定を完了します。

※OFFを選択した場合は目覚ましタイマーはセットされませんのでご注意ください。

- 2** タイマーをセットしたい時刻に合わせて。早送り/スキップ+ボタン又は早戻し/スキップボタンで”時”を合わせて本体の目覚ましタイマーボタン又はリモコンのオンタイマーボタンを押します。続けて”分”を同様に合わせます。



タイマーがセットされると画面に時計マークが表示されます。

設定した目覚ましタイマーの音源はリピート設定できません。また途中で再生を停止したい場合は、停止ボタンを押すか電源を切ってください。

CD、SD、USB、AMFMラジオの再生時、オンタイマーボタンを押すと時計表示になります。

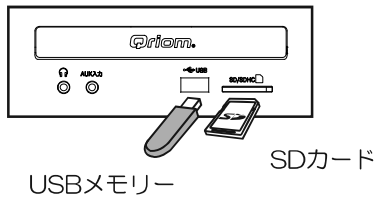
※時刻表示は24時間表示のみとなります。

音楽CDからUSBメモリー／SDカードに録音する

アルバムを全曲録音する

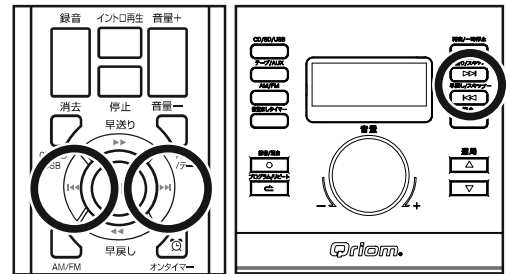
アルバムの曲を1曲ずつ1ファイルごとに分けて、全曲、自動的に録音する方法です。

- 1 CDの自動再生開始後、停止ボタンを押して停止させます。(P17参照)
USBメモリーを本機の正面にあるUSB端子に接続します。SDカードは本機の正面にあるSDカードスロットに差し込みます。
※ラベル面を上にして挿入します。

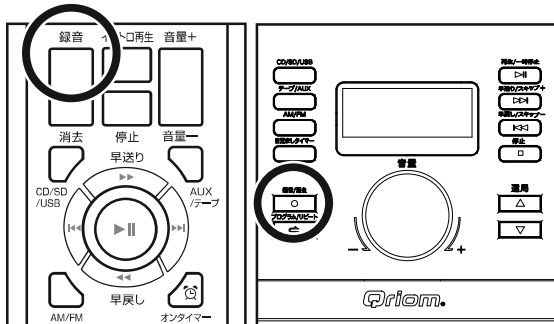


※ご注意
停止中に録音する場合、本機のスピーカーから音を出さずに録音が可能です。曲を聴きながら録音したい場合は、再生中に録音ボタンを押して下さい。

※ USBメモリーとSDカード両方が本体に接続されている場合、ディスプレイに保存先の選択画面が表示されます。本体の早送り/スキップ+ボタン又は早戻し/スキップ-ボタン、リモコンではスキップ+ボタン又はスキップ-ボタンを押して、USBメモリー又はSDカードを選択します。その後、録音ボタンを再度押します。



- 2 リモコン又は本体の録音ボタンを押します。

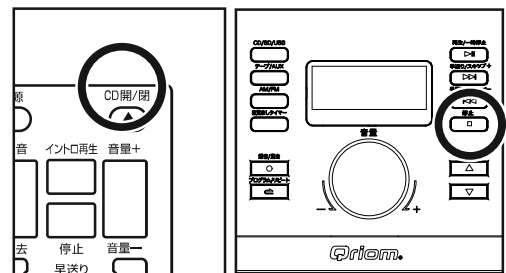


録音中は録音ランプ及び録音先のメモリー(下図の例では「SD」)が点滅します。
録音の経過をパーセントで表示します。

※ 2で再生中に録音ボタンを押した場合は録音中の画面にトラック経過時間が表示されます。

- 3 録音ランプが点灯し、ディスプレイに「ONE」と点滅して表示されます。早送り/スキップ+ボタン、早戻し/スキップ-ボタンを押すと「FOLd」、再度、早送り/スキップ+ボタン、早戻し/スキップ-ボタンを押すと「ALL」が表示されますのでこの状態で、録音ボタンを再度1回押すと、2~5秒後、画面に「rEC」と表示された後、録音経過表示(パーセント表示/1曲ごと)に切り替わり、1曲目から自動的に録音を開始します。

- 4 全ての曲の再生が終わると、ディスプレイに“End”と表示され自動的に録音が終了します。途中で強制的に録音を停止させたい場合は、リモコン又は本体の停止ボタンを押します。

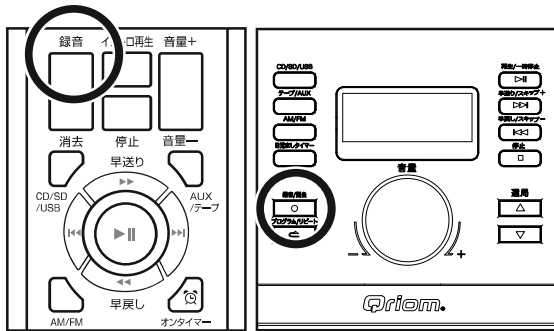


△注意
CDアルバム全曲の録音は自動的に曲の最初から録音されるため、曲の途中からは録音できません。ご了承ください。

アルバムの中の1曲だけ録音する

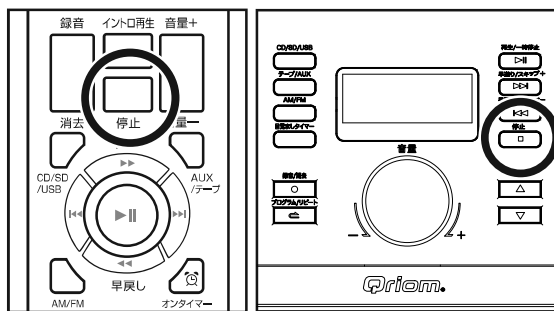
P28「アルバムを全曲録音する」から**1**を参照して準備します。

- 1** 録音したい曲を選択して停止します。(P16参照)
- 2** 録音ボタンを押すと、ディスプレイに「ONE」と表示されます。USBメモリー、SDカードともに接続されている場合は、P28の**3**を参照して録音先を決定します。
この状態で録音ボタンを再度押して2~5秒後、画面に「rEC」と表示された後、録音経過表示(パーセント表示)に切り替わると自動的に録音を開始します。



※再生中に録音ボタンを押した場合は録音中の画面にトラック経過時間が表示されます。

- 3** 録音が終了すると自動的に停止します。途中で強制的に停止させたい場合は停止ボタンを押します。



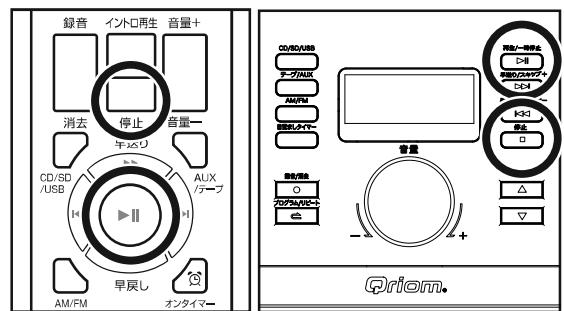
※ご注意

停止中に録音する場合、本機のスピーカーから音を出さずに録音が可能です。曲を聴きながら録音したい場合は、再生中に録音ボタンを押して下さい。

アルバムの曲をプログラムして録音する

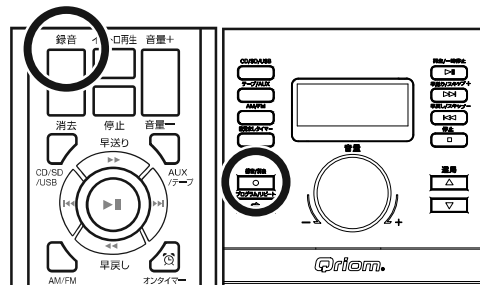
P28「アルバムを全曲録音する」から**1**を参照して準備します。

- 1** 録音したい曲をプログラム再生の手順で設定します。(P19参照)
USBメモリー、SDカードともに接続されている場合は、P28の※を参照して録音先を決定します。
- 2** プログラムを設定したら、再生ボタンを押します。すぐに停止ボタンを押して、再生を停止します。



- 3** 録音ボタンを押すと、ディスプレイに「ONE」と表示されます。早送り/スキップ+ボタン、早戻し/スキップ-ボタンを押してディスプレイに「ALL」を表示させます。

※「ONE」に設定した場合、プログラムした1曲目だけしか録音されませんのでご注意ください。USBメモリー、SDカードともに接続されている場合は、P28 **3**を参照して録音先を決定します。録音ボタンを再度押して2~5秒後、画面に「rEC」と表示されたあと、録音経過表示(パーセント表示/1曲ごと)に切り替わると自動的にプログラムした曲だけを録音します。
録音が終了すると、ディスプレイに「End」と表示され自動的に録音が終了します。途中で強制的に停止させたい場合は停止ボタンを押します。



<参考>

音楽CDからUSBメモリー/SDカードに録音して作成されたファイルの保存形式について

CDからUSBメモリー、SDカードで録音すると、自動的に「RECORD」フォルダとその中に「CDIN」フォルダが作成されます。ファイルは全てそのフォルダ内に保存され、ファイル名は「FILE_xxx.MP3」（xxxは3桁の数字）という名前で順番に数字が増えて保存されます。ファイル形式はMP3です。

MP3のCD（CD-R/RW）からUSBメモリー/SDカードにコピーする

MP3のCDから全曲コピーする

P28「アルバムを全曲録音する」を参照してください。（同様の手順です）

P28 **2**～**3**で録音ボタンを押した後「FOLd」を選択すると、現在選択中のフォルダだけを全曲コピーします。

MP3のCDから1曲だけコピーする

P29「アルバムの中の1曲だけ録音する」を参照してください。（同様の手順です）

MP3のCDをプログラムしてコピーする

P29「アルバムの曲をプログラムして録音する」を参照してください。（同様の手順です）

USBメモリー⇒SDカード、SDカード⇒USBメモリーへコピーする

本機を使ってUSBメモリーからSDカードに、又はSDカードからUSBメモリーにMP3ファイルをコピーすることができます。本体またはリモコンのSD/USBボタンを押してUSBメモリー又はSDカード再生モードに切り替えてからファイルを選択し、録音ボタンを押します。

手順はP21～22「USBメモリー/SDカードを聴く」を参考にコピーしたいファイル選択し、P28 **2**～29「音楽CDからUSB/SDに録音する」と同様の手順でコピーできます。

P28 **2**～**3**で録音ボタンを押した後「FOLd」を選択すると、現在選択中のフォルダだけを全曲コピーします。

△注意

本機でCDを録音したファイルや、著作権が保護されたファイルはコピーできませんのでご了承ください。

<参考>

MP3からUSBメモリー/SDカードにコピーして作成されたファイルの保存形式について

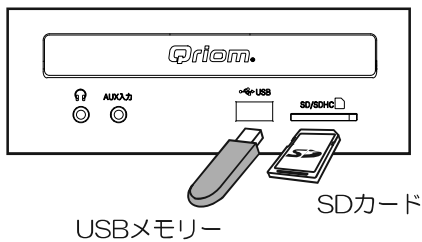
MP3からUSBメモリー/SDカードにコピーすると、自動的に「RECORD」というフォルダとその中に「COPY」というフォルダがUSBメモリー/SDカード内に作成されます。ファイルは全てそのフォルダ内に保存され、ファイル名は「FILE_xxx.MP3」（xxxは3桁の数字）という名前で順番に数字が増えて保存されます。ファイル形式はMP3です。

カセットテープからUSBメモリー／SDカードに録音する

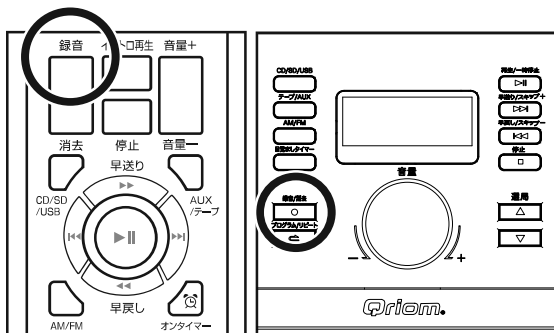
※ カセットの録音音量はノイズを抑えるため、あらかじめ低く設定しています。録音したカセットの音量を大きくして聴きたい場合は「P11 外部スピーカー（別売・市販品）の接続」を参照し、アンプ内蔵スピーカー等を接続してお好みの音量でお楽しみ頂くことをお勧め致します。

- 1 USBメモリーを本機の正面にあるUSB端子に接続します。SDカードは本機の正面にあるSDカードスロットに差し込みます。

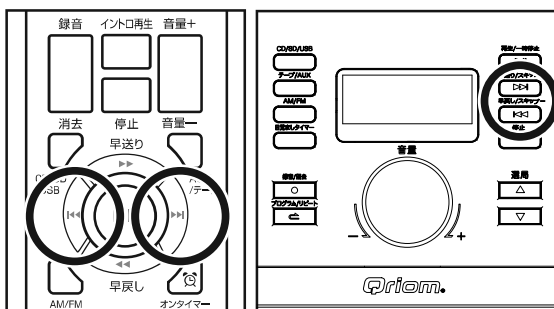
※ラベル面を上にして挿入します。



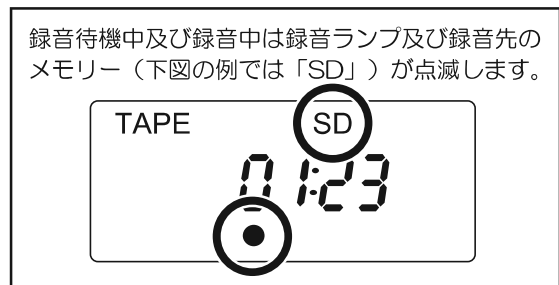
- 2 カセットテープを再生できるように準備し（25ページ参照）、録音ボタンを押します。



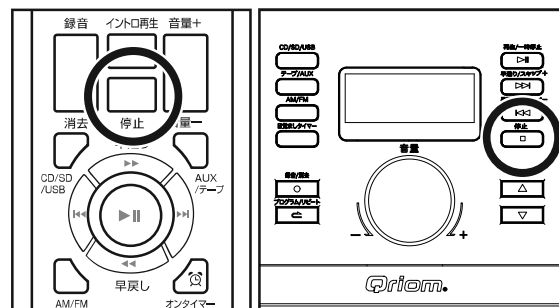
※ USBメモリーとSDカード両方が本体に接続されている場合、ディスプレイに保存先の選択画面が表示されます。本体の早送り/スキップ+ボタン又は早戻し/スキップ-ボタン、リモコンではスキップ+ボタン又はスキップ-ボタンを押して、USBメモリー又はSDカードを選択します。その後録音ボタンを再度押します。



- 3 録音ランプが点灯し、ディスプレイに「rEC」と表示された後、2～5秒後に録音ランプが点滅し録音が開始されるので、すぐにカセットの再生スイッチを押してカセットを再生します。



- 4 録音を終了する場合は、停止ボタンを押します。



<ヒント>

カセットを聴いているときに、録音ボタンを押してすぐに録音することもできます。

<参考>

カセットテープからUSBメモリー/SDカードに録音して作成されたファイルの保存形式について

カセットテープからUSBメモリー/SDカードに録音すると、自動的に「RECORD」フォルダとその中に「LINE_IN」フォルダが作成されます。ファイルは全てそのフォルダ内に保存され、ファイル名は「FILE_xxx.MP3」（xxxは3桁の数字）という名前で順番に数字が増えて保存されます。ファイル形式はMP3です。カセット、ラジオ、AUX入力からの録音は同じフォルダに保存され、同様にファイル名が作成されます。

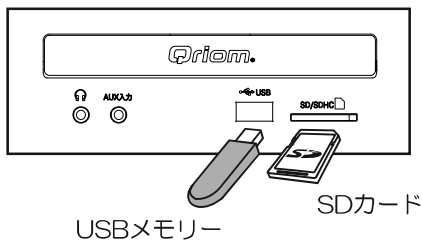
△注意

カセットテープの録音は全て手動になります。カセットテープから録音したファイルを再生すると、実際の音声に比べてノイズが目立つ場合がありますが、本機の故障ではありませんのでご了承ください。本機は他の媒体からカセットテープへ録音することはできませんのでご了承ください。

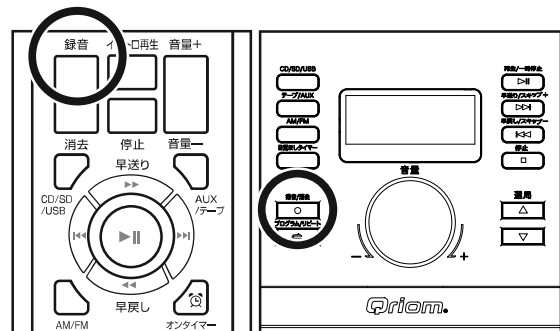
AUX入力端子からUSBメモリー/SDカードに録音する

1 P26「AUX入力端子に色々な機器を接続して聴く」を参照して、接続した外部機器を再生する状態にします。（まだ再生しません）

2 USBメモリーを本機の正面にあるUSB端子に接続します。SDカードは本機の正面にあるSDカードスロットに差し込みます。
※ラベル面を上にして挿入します。

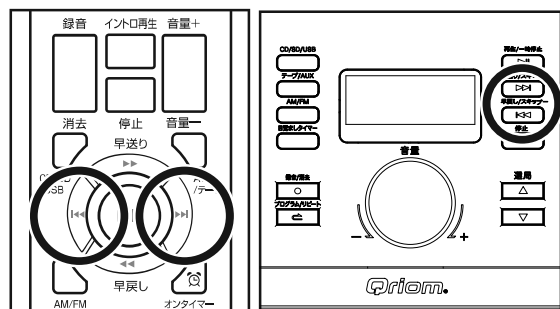


3 録音ボタンを押します。



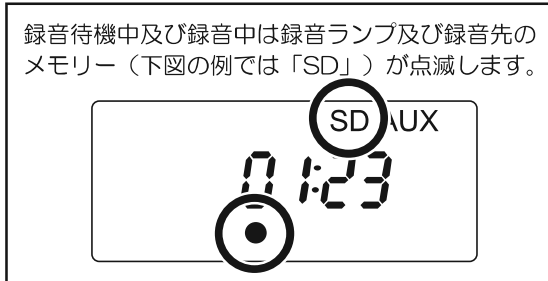
※USBメモリーとSDカード両方が本体に接続されている場合、ディスプレイに保存先の選択画面が表示されます。本体の早戻し/スキップボタン、リモコンではスキップ+ボタン又はスキップボタンを押して、USBメモリー又はSDカードを選択します。

その後録音ボタンを再度押します。

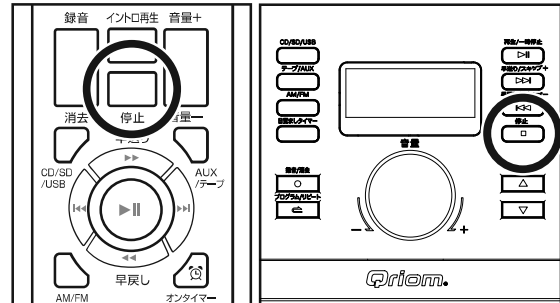


10. 録音する

- 4** 録音ランプが点灯し、ディスプレイに「rEC」と表示された後、2～5秒後に録音ランプが点滅し録音が始まるので、すぐにAUX入力に接続した機器を再生します。



- 6** 録音を停止する時は、停止ボタンを押します。



- 5** 録音がスタートしたら、すぐに接続した外部機器を再生します。これで録音の状態になります。

< 参考 >

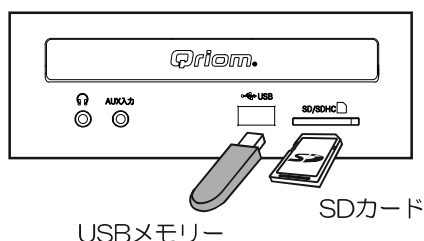
AUX入力からUSBメモリー/SDカードに録音して作成されたファイルの保存形式について

AUX入力からUSBメモリー/SDカードに録音すると、自動的に「RECORD」フォルダとその中に「LINE_IN」フォルダが作成されます。ファイルは全てそのフォルダ内に保存され、ファイル名は「FILE_xxx.MP3」（xxxは3桁の数字）という名前で順番に数字が増えて保存されます。ファイル形式はMP3です。カセット、ラジオ、AUX入力からの録音は同じフォルダに保存され、同様にファイル名が作成されます。

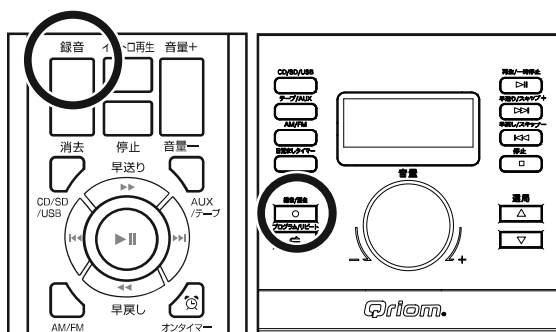
ラジオからUSBメモリー/SDカードに録音する

1 P15「ラジオを聴く」を参照して、録音したい放送局を受信します。

2 USBメモリーを本機の正面にあるUSB端子に接続します。
SDカードは本機の正面にあるSDカードスロットに差し込みます。
※ラベル面を上にして挿入します。



3 録音ボタンを押します。

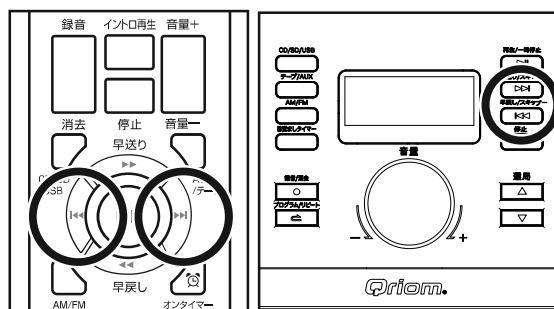


※ USBメモリーとSDカード両方が本体に接続されている場合、ディスプレイに保存先の選択画面が表示されます。本体の早送り/スキップ+ボタン又は早戻し/スキップ-ボタン、リモコンではスキップ+ボタン又はスキップ-ボタンを押して、USBメモリー又はSDカードを選択します。
その後録音ボタンを再度押します。

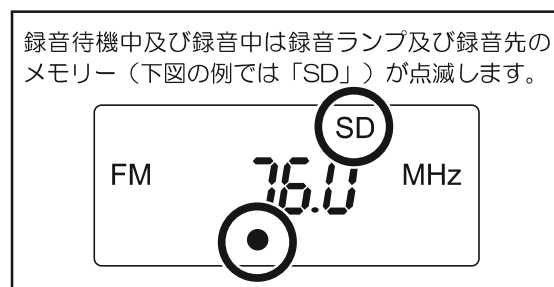
< 参考 >

ラジオからUSBメモリー/SDカードに録音して作成されたファイルの保存形式について

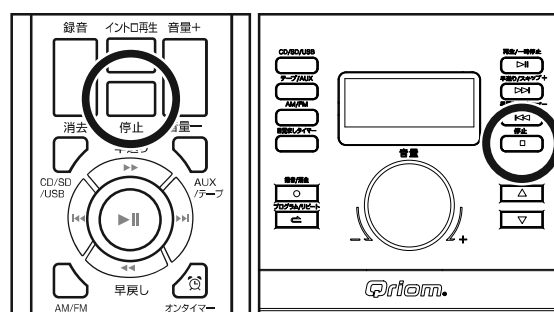
ラジオからUSBメモリー/SDカードに録音すると、自動的に「RECORD」フォルダとその中に「LINE_IN」フォルダが作成されます。ファイルは全てそのフォルダ内に保存され、ファイル名は「FILE_xxx.MP3」（xxxは3桁の数字）という名前で順番に数字が増えて保存されます。ファイル形式はMP3です。カセット、ラジオ、AUX入力からの録音は同じフォルダに保存され、同様にファイル名が作成されます。



4 録音ランプが点灯し、ディスプレイに「rEC」と表示された後に周波数が表示されると録音待機状態となります。約2～5秒後に録音ランプが点滅し、録音を開始します。



5 録音を終了する場合は、停止ボタンを押します。



⚠ 注意

ラジオの録音は全て手動になります。ラジオから録音したファイルを再生すると、実際の音声に比べてノイズが目立つ場合がありますが、本機の故障ではありませんのでご了承ください。

⚠ 注意

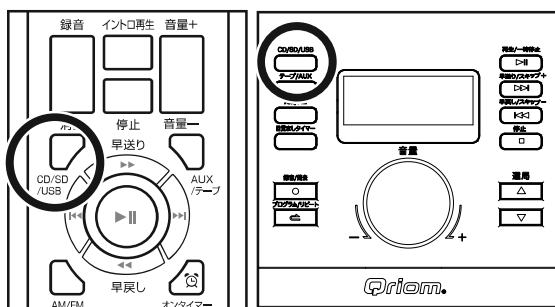
全てのモードで録音時の日付の設定はできませんのでご了承ください。

USBメモリー/SDカードから音楽ファイルを消去する

USBメモリーが本機に接続されているか、又はSDカードが本機に挿入されていることを確認してください。

※消去は十分に注意して行ってください。一度消去したデータは元に戻すことはできませんのでご注意ください。

- 1** CD/SD/USBボタンを押して、消去したいデータのある方を選びます。リモコンではUSBボタン、SDボタンを押して選択します。



- 3** 本体の録音/消去ボタンを長押しします。ディスプレイに「ONE」と点滅して表示され、続けて早送り/スキップ+、早戻し/スキップ-ボタンを押すと「FOLd」、再度、早送り/スキップ+、早戻し/スキップ-ボタンを押すと「ALL」と表示されます。

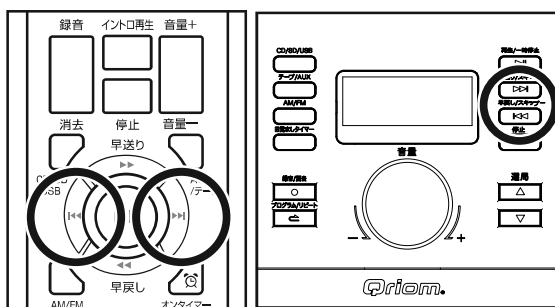
1. ONE：1曲消去
2. FOLd：フォルダー内の曲を全曲消去
3. ALL：メモリーの全ファイルを消去

上記3つから一つ選択して画面に表示させた状態で、消去したい曲が再生されている間に本体の録音/消去ボタンを再度1回長押しすると、ディスプレイに「dEL」と表示され、データが完全に消去されます。

※ご注意

消去したい曲と違う曲が再生されている状態で録音/消去ボタンを長押ししないようにご注意ください。

- 2** 本体の早送り/スキップ+ボタン又は早戻し/スキップ-ボタン、リモコンのスキップ+ボタン又はスキップ-ボタンを押して、消去したいファイルを選択し再生ボタンを押して再生します。



消去中は画面に「dEL」と表示されます。消去が完了すると「dEL」の表示が消えます。



録音した曲が見つからず再生に困ったときは・・・

CDプレーヤーやカセットテープからUSBメモリーやSDカードに録音した曲は、下記のフォルダにそれぞれ自動的に振り分けられて保存されます。

各フォルダ毎に録音の若い順から順番に再生されます。

RECORDフォルダ・・・以下の3つのフォルダを録音時、自動的に生成します。

—	“CDIN” フォルダ	・・・	CDから録音したファイルを保存
—	“COPY” フォルダ	・・・	MP3CDやUSBメモリーやSDカードからコピーしたファイルを保存
—	“LINE_IN” フォルダ	・・・	カセット、ラジオ、AUXから録音したファイルを保存

上記フォルダの再生順位は「“CDIN” フォルダ > “COPY” フォルダ > “LINE_IN” フォルダ」というように必ずCDINフォルダから再生が始まります。

例) 1. カセットを1曲録音 (A)
 2. CDを1曲録音 (B)
 3. MP3CDを1曲コピー (C)
 4. カセットを1曲録音 (D)
 上記の順番で録音した場合、再生される順番はB⇒C⇒A⇒D

例) 1. CDを1曲録音 (A)
 2. カセットを1曲録音 (B)
 3. MP3CDを1曲コピー (C)
 4. カセットを1曲録音 (D)
 上記の順番で録音した場合、再生される順番はA⇒C⇒B⇒D

※上記の例はフォーマットされたUSB/SDを使用した場合に限りです。

データの取り扱いに関する注意

- パソコンにデータを記録する場合は、著作権法に違反しないよう十分注意してください。当社、および本製品の製造元・流通元・販売元は、本製品が上記のような違反行為に使用された場合、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用に伴い、USB接続によりパソコンに書き込んだデータの消失、毀損等によりお客様に生じた逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見、または予見し得た場合を含みます）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害に関しては、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

著作権について

- 市販の音楽CDなどを権利者の承諾なしに複製することは個人で楽しむ以外は著作権法により禁止されています。個人で楽しむ目的以外であっても、作成した音楽データを権利者の承諾なしに第三者に配布することはできません。個人で楽しむ目的で録音した音楽データを、権利者の承諾なしに故意にインターネット上で配布することは、著作権法の「公衆送信権」「送信可能化権」に抵触し、行った場合は法律により処罰の対象になります。

故障かな・・・?と思ったら

本製品に問題が発生した場合は、下記のことをチェックしてください。






症状	原因	対処法
電源が入らない。	電源コードがコンセントに差し込まれていない。	電源コードをコンセントに差し込んでください。
	電源ボタンを押していない。	電源ボタンを押してください。
内蔵スピーカーから音が出ない。	音量が小さい。	音量つまみを右に回して、音量を大きくしてください。
外部スピーカーから音が出ない。	スピーカーのケーブルを接続していない。	スピーカーのケーブルが正しく本体背面のLINE出力端子に接続されているか確認してください。
ラジオの音が聞き取りづらい。	音量が小さい。	音量つまみを右に回して、音量を大きくしてください。
	AMの受信状況があまり良くない。	本体の設置位置や向きを変えてください。
	FMの受信状況があまり良くない。	FMアンテナを伸ばして、位置を変えてください。
CDが動作しない。	CDが逆さまに入れられている。	ラベルを上にして入れ直してください。
	モードがCDになっていない。	CD/SD/USBボタンでCDモードに切り替えてください。
	レンズが汚れている。	市販のレンズクリーナーを使ってレンズのクリーニングを行ってください。
	一時停止状態になっている。	再生/一時停止ボタンを押して、再生してください。
CD再生中、曲の途中でスキップする。	CDが汚れている。	柔らかい布や綿棒などでやさしく拭くか、市販のCDクリーナーを使ってCDのクリーニングを行ってください。
USBメモリー/SDカードが認識しない。	モードがUSB/SDになっていない。	CD/SD/USBボタンでUSB/SDモードに切り替えてください。
	正しく接続されていない。	正しく接続されているか確認してください。
	対応していないUSBメモリー/SDカードを使用している。	P23~を参照して、本機に合ったUSBメモリー/SDカードを使用してください。
USBメモリー/SDカードに録音できない。	SDカードの書き込みスイッチが「LOCK」になっている。※1	SDカードの「LOCK」を解除してください。
	USBメモリー/SDカードを認識していない。	電源を切ってもう一度最初からやり直してください。又はUSBメモリー/SDカードをフォーマットして最初からやり直してください。
USBメモリー/SDカードに録音できない。	メモリーがいっぱいになっている。	不要なファイルを消去して、空き容量を増やしてから再度録音してください。
カセットをUSBメモリー/SDカードへ録音した時の録音音量が小さい。	カセットの録音音量はノイズを抑えるため、あらかじめ低く設定されています。(本機の不良ではありません)	最大音量をもっと大きくして聴きたい場合は「P11 外部スピーカー(別売・市販品)の接続」を参照し、別売のアンプ内蔵スピーカー等を接続してください。
リモコンで操作できない。	リモコンの有効範囲の外で使用している。	P10「リモコンの使い方」を参考にもう一度やり直してください。
	リモコンの電池が消耗している。	電池を交換してください。

※1 SDカードのみ。





注意：CDプレーヤーには自動給油式ベアリングが使用されています。潤滑油を塗布する必要はありません。

エラーメッセージ一覧表

※本機の異常を表すものではありませんのでご注意ください。

LED表示内容	エラー内容	対処方法
	録音中にSD/USBを抜く。	録音が完全に終了してからSD/USBを抜いてください。
	対応していないUSBメモリー、SDカードを再生しようとしてエラーとなっている。	対応しているUSBメモリー、SDカードをご使用ください。
	CCCD（コピーコントロールCD）やコピーできないファイルを録音しようとしてエラーとなっている。	本機ではCCCDなどの録音はできません。
	CDが入っていない。	CDを入れてください。
	USBメモリー、SDカードが入っていない。	USBメモリー、SDカードを入れてください。
	USBメモリー、SDカードにデータが入っていない。	MP3音楽ファイルが入っているUSBメモリー、SDカードを挿入してください。
	USBメモリー、SDカードの容量がいっぱいで録音できない。	USBメモリー、SDカードの中の不要なファイルを消去してから再度録音してください。

本機の状態を表すメッセージ一覧表

LED表示内容	メッセージ内容
	CDトレイを開いた時、開いた状態の時
	消去の準備中（点滅）、消去中（点灯）
	イントロ再生中
	録音を開始する時

製品仕様

機能	項目	仕様
ラジオ (チューナー)	受信周波数	FM76MHz~95MHz AM522KHz~1629KHz
CDプレーヤー	ピックアップ	半導体レーザー
	ワウ・フラッター	測定限界以下
	再生フォーマット	CDDA、MP3
	再生可能メディア	CD/CD-R/CD-RW
カセット	対応カセット	TYPE I~IV (※再生機能のみ対応)
SDカード	再生ファイル形式 (対応ビットレート/ サンプリング周波数)	MP3 32~320Kbps/32、44.1、48KHz
	録音ファイル形式 (対応ビットレート/ サンプリング周波数)	MP3 128Kbps/44.1KHz
USBメモリ	インターフェース	USB3.0
	再生ファイル形式 (対応ビットレート/ サンプリング周波数)	MP3 32~320Kbps/32、44.1、48KHz
	録音ファイル形式 (対応ビットレート/ サンプリング周波数)	MP3 128Kbps/44.1KHz
対応フォルダ数、ファイル数、階層		99個、999個、16層
共通部	スピーカー最大出力	2.5W×2
	入出力端子	AUX入力 (3.5mm ステレオミニジャック) / LINE出力 (RCA) / ヘッドフォン出力 (3.5mm ステレオミニジャック)
	電源	AC 100V (50/60Hz) 0.2A
	消費電力	21W
	外径寸法	W450×D220×H188mm
	質量	約4.5kg
	電源コード長	約1.5m
	FMアンテナケーブル長	約2m
	リモコン	単4形乾電池 2本 (別売・市販品)

免責事項

- 本製品を運用したあらゆる結果のいかなる影響についても、弊社は一切の責任を負いません。
- 本取扱説明書は株式会社山善が著作権を保有します。
- 株式会社山善の著作物の一部または全部を無断で複製、転写、転載、改変することを禁止します。
- 一般に会社名、製品名は各社の商標または商標登録です。
- 本製品および本取扱説明書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- 本製品および本取扱説明書などは、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提として開発・製造されています。
- 本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関して日本国外での技術サポート、アフターサービスなどは行っておりません。あらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書と本製品の異なる部分がございましたら、本製品の仕様を優先させていただきます。

本書の内容につきましては、万全を期しましたが、ご不明な点や誤りなどございましたら、販売店もしくはキュリオムサポートセンターにご連絡ください。

また、上記に関わらず、以下の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ① 弊社の責任によらない製品の損傷、破損、または改造による故障や不具合
- ② 本製品をお使いになって生じたデータの消失または破損
- ③ 本製品のために費やした時間、経費
- ④ 本製品に付随する、または運用の結果もたらされた損害
- ⑤ 本製品によりもたらされるべき、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

※ 本書に乱丁、落丁があった場合はお取り替え致しますので、弊社までご連絡ください。

付属品等のオプション販売のご案内

下記の付属品をお買い求めの場合はお取り寄せとなりますので、各販売店にお問い合わせください。

	製品名	型番
1	SD/CDラジカセレコーダーボックス用リモコン	KCD-RC1
2	AMループアンテナ	YVR-AM2

※ 価格につきましては、販売店にご確認ください。

※ 上記のオプション品は状況により手配できない場合がございますので、販売店にご確認ください。

お手入れの仕方

＜本体の清掃＞

汚れは、ぬるま湯か台所用中性洗剤に浸した柔らかい布を固くしぼって拭き、さらに乾いた布で洗剤が残らないようにお手入れをしてください。

お 願 い	
<ul style="list-style-type: none"> ● お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・化学ぞうきんなどは使用しないでください。破損・変質の原因となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体のまる洗いはしないでください。故障の原因となります。 

アフターサービスについて

- この製品は保証書がついております。お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年です。詳細は保証書をご覧ください。
- アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載のお買い上げの販売店かキュリオムサポートセンターにお問い合わせください。

キュリオムサポートセンター：  **0570-00-9106**

受付時間：月～金 午前10時～午後5時30分（土・日・祝祭日・年末年始を除く）
※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。

メールでのお問い合わせ：E-mail：support@qriom.com

ホームページ：

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理義務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

